



第12回日本LCA学会研究発表会

プログラム

2017年3月1日(水)－3日(金)

つくば

産業技術総合研究所 つくばセンター

第 12 回日本 LCA 学会研究発表会開催案内

第 12 回日本 LCA 学会研究発表会ウェブサイトの URL

<http://ilcaj.org/meeting/12th/index.html>

主 催：日本 LCA 学会

共 催：国立研究開発法人産業技術総合研究所

日 時：2017 年 3 月 1 日（水）～ 3 月 3 日（金）

会 場：産業技術総合研究所つくばセンター つくば中央 共用講堂（茨城県つくば市東 1-1-1）

最新の情報は、上記ウェブサイトをご覧ください。

発表形式：口頭発表およびポスター発表

口頭発表の発表時間は、1 件あたり 20 分（発表 12 分、質疑 7 分、発表者交代 1 分）です。口頭発表は、登壇者の PC を会場のプロジェクターに接続しての発表となります。発表者は各自 PC をご準備ください。詳細は、研究発表会ウェブサイトの「口頭発表」をご覧ください。

ポスターセッションは、P 会場（共用講堂 1 階ホワイエ）で開催いたします。ポスターの掲示は、ポスターセッション当日の 3 月 2 日（木）12:40 からポスターセッション開始時刻（15:40）までに行います。A0 サイズ（84 cm × 119 cm）のポスターが掲示できる十分なスペースを用意しています。詳細は、研究発表会ウェブサイトの「ポスター発表」をご覧ください。ポスターは、ポスターセッション当日の 18:00 までに発表者が回収して下さい。

口頭発表における注意事項：

- ・次の発表者は、前の講演が終わる前に講演者席に移り、PC をプロジェクターに接続して待機してください。
- ・発表関係者および実行委員会以外の方は、講演スライドの撮影をご遠慮ください。
- ・会場内静粛維持のため、CD-ROM 版要旨集は、あらかじめパソコンにコピーしてからお使いください。

ポスター発表のコアタイム制について：

2 時間のポスターセッション中、1 時間ずつのコアタイム（発表者が待機する時間帯）を設けています。発表する・聴講するポスターのコアタイムをご確認ください。コアタイムの振り分け方は下記の通りです。

- ・ポスター番号が奇数のポスターは、コアタイム A（15:40 ～ 16:40）です。
- ・ポスター番号が偶数のポスターは、コアタイム B（16:40 ～ 17:40）です。

それぞれのポスター番号は、プログラムおよびポスターボード上部の札でご確認ください。

発表者は、指定されたコアタイム中は必ずご自身のパネルの前で発表してください。学生優秀ポスター発表審査にエントリーしている方は、指定されたコアタイムに自分のポスター前で待機していない場合、表彰の対象外となりますのでご注意ください。また、自分のコアタイムには必ず目立つ所に名札を付けてください。

要旨集：会期前にウェブサイト上で Web 版講演要旨集を公開しています。また、有料の CD-ROM 版および印刷版講演要旨集を 2 月 3 日（金）までに申し込まれた方は、研究発表会期間中に受付でお受け取りください。

無線 LAN：会場内では、研究発表会参加者向けにビジター用無線 LAN サービスを提供しております。無線 LAN へのアクセスにより、Web 版講演要旨集が閲覧可能です。

交流会：研究発表会 2 日目のポスターセッション終了後の 3 月 2 日（木）18:00 から、厚生センター食堂にて交流会を開催します。本研究発表会に参加登録頂いた方については、交流会参加費は無料です。

学生優秀発表の表彰：学生会員による研究発表の中から、審査により優秀な発表を表彰します。表彰式は研究発表会のクロージングで実施します。会場は、A 会場（共用講堂 1 階講堂）です。なお、演題登録時に表彰審査にエントリーし、登録した登壇者が学生会員であり、各締切期日を守り、参加登録した学生が実際に登壇した発表を審査対象とします。審査の詳細は、研究発表会ウェブサイトの「学生優秀発表」をご覧ください。

交通案内

- つくばエクスプレス つくば駅 A3 出入口前、「つくばバスターミナル 4 番のりば」より

・関東鉄道バス「荒川沖駅（西口）行（並木経由）」、「学園並木循環」、「桜ニュータウン行」または「学園南循環（右回り）」乗車→「並木二丁目」下車（所要時間約 10 分、270 円）

- JR 常磐線 荒川沖駅西口前、「西口 4 番のりば」より

・関東鉄道バス「筑波大学中央行」または「つくばセンター行（並木経由）」乗車→「並木二丁目」下車（所要時間約 15 分、280 円）

- 東京駅八重洲南口前、「東京駅 JR 高速バスターミナル」より

・常磐高速バス（JR バス関東・関東鉄道）「つくば号（つくばセンター・筑波大学行）」乗車→「並木二丁目」下車（所要時間約 60 分、1,180 円）

乗車時間は目安です。

詳細は、以下のウェブサイトを参照してください。

国立研究開発法人産業技術総合研究所 つくばセンター（つくば中央）

http://www.aist.go.jp/aist_j/guidemap/tsukuba/center/tsukuba_map_c.html



©AIST

敷地案内マップ

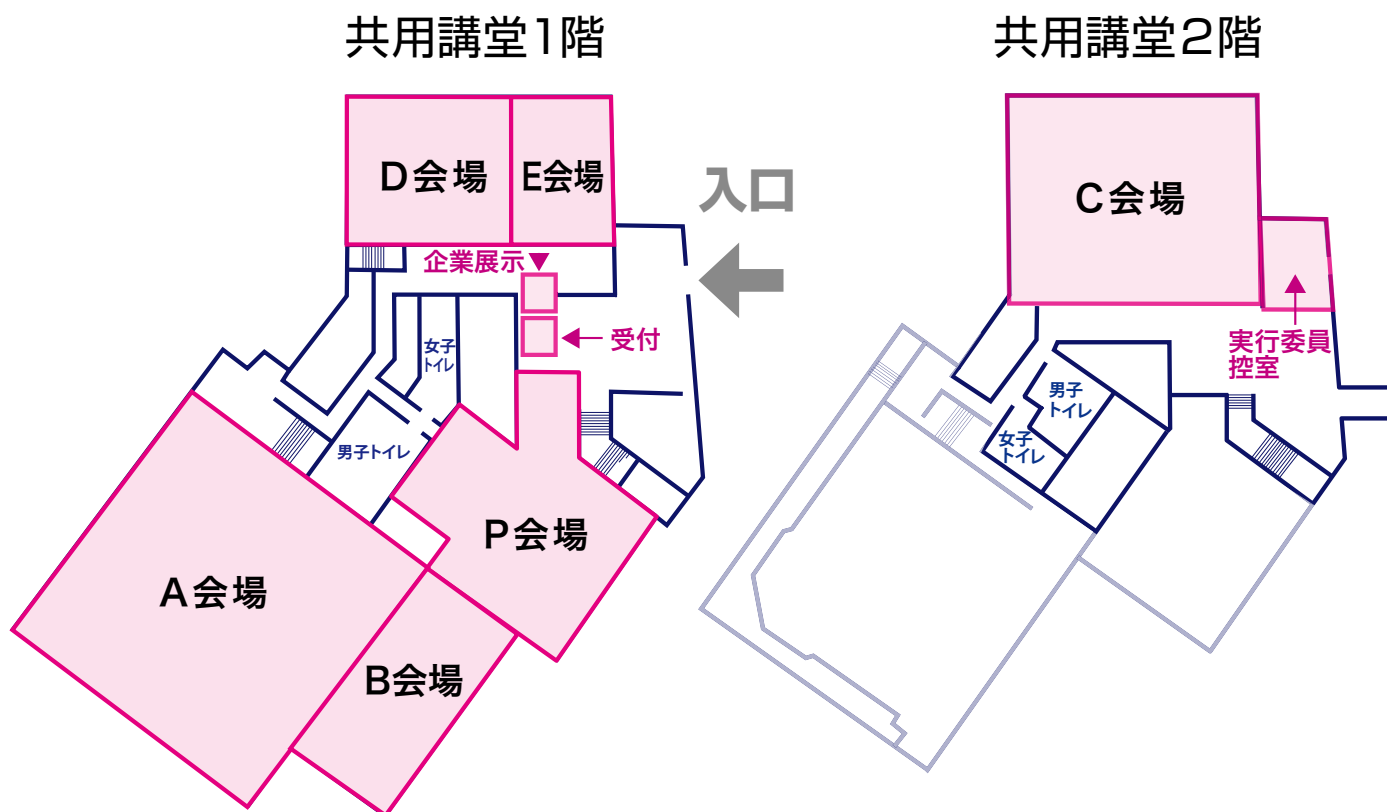
産業技術総合研究所つくばセンター
つくば中央 共用講堂

〒305-8561 茨城県つくば市東 1-1-1
中央第 1

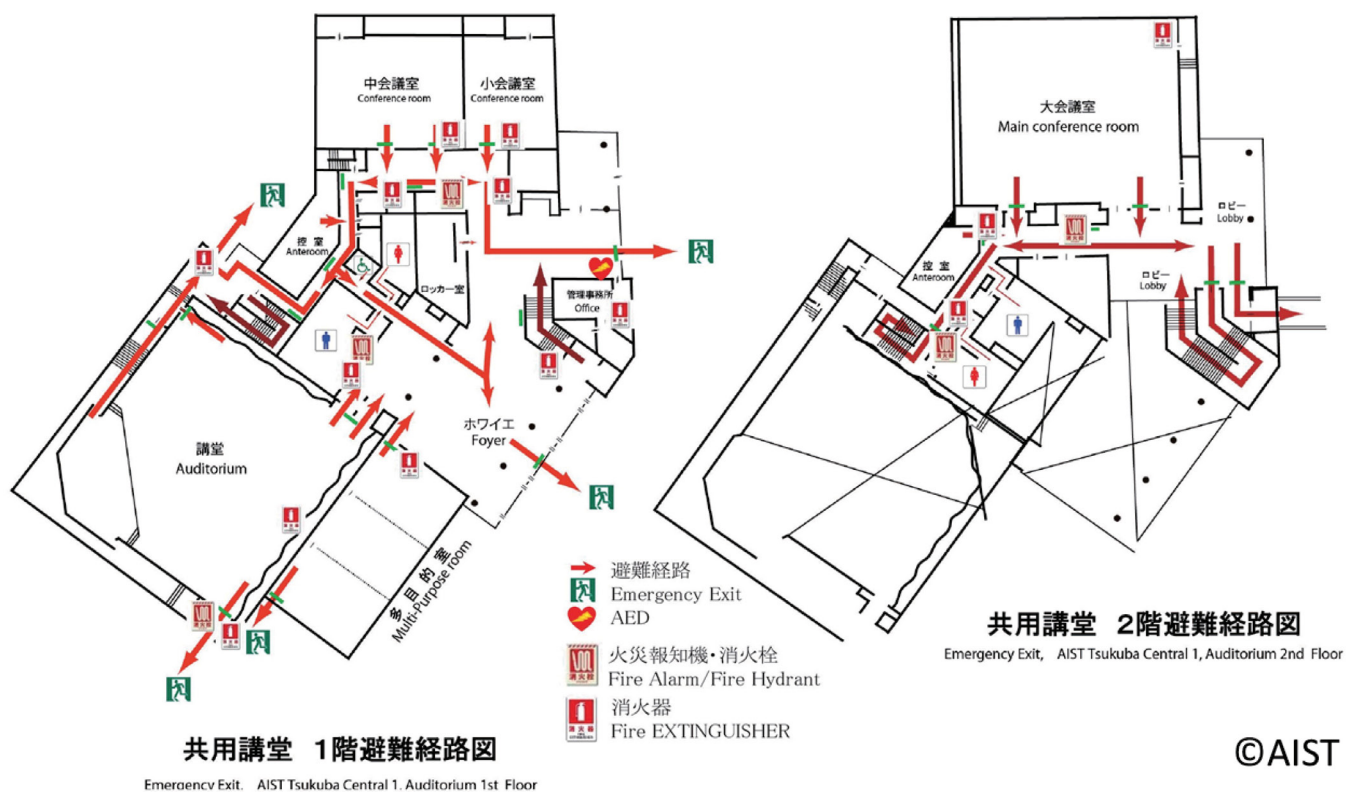


©AIST

会場案内図



共用講堂避難経路図



第12回日本LCA学会研究発表会 実行委員会名簿

実行委員長	産業技術総合研究所	田原 聖隆
副委員長	産業技術総合研究所	塚原 建一郎
副委員長	産業技術総合研究所	畑山 博樹
実行委員	東京大学	井原 智彦
	日本環境協会	大澤 亮
	農業・食品産業技術総合研究機構	萩野 暁史
	産業技術総合研究所	小澤 暁人
	神戸大学	尾下 優子
	ライオン	加藤 久仁子
	国立環境研究所	河井 紘輔
	東京大学	菊池 康紀
	プリプレス・センター /elsa	北村 祐介
	芝浦工業大学	栗島 英明
	産業技術総合研究所	玄地 裕
	福島大学	小井土 賢二
	早稲田大学	近藤 康之
	県立広島大学	小林 謙介
	富士通研究所	塩田 哲義
	産業環境管理協会	仲井 俊文
	横浜国立大学	稗貫 峻一
	立命館大学	吉川 直樹
事務局	株式会社シーエーティー	室井 るみの
	株式会社シーエーティー	清水 祐子
	株式会社シーエーティー	大竹 敬子
	株式会社シーエーティー	吉村 祐子
	株式会社シーエーティー	津田 祥子

第12回日本LCA学会研究発表会 プログラム タイムテーブル

1日目 3月1日(水)

	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場
9:40-10:00	持続的な資源利用	再生可能エネルギー	コミュニケーション	製品LCA(1)	建築・住宅
10:00-10:20					
10:20-10:40					
10:40-11:00					
11:00-11:20	休憩				
11:20-11:40	交通	水素・燃料電池	食品廃棄物	廃棄物(1)	
11:40-12:00					
12:00-12:20					
12:20-13:20	昼休み				
	A会場				
13:20-14:20	基調講演				
14:20-14:40	移動				
14:40-15:00	資源リスク	気候変動の 緩和策と適応策	バイオ燃料	廃棄物(2)	自動車
15:00-15:20					
15:20-15:40					
15:40-16:00					
16:00-16:20					
16:20-16:40	休憩				
16:40-17:00	鉄鋼	水	データベース	災害	食と一次産業(1)
17:00-17:20					
17:20-17:40					
17:40-18:00					

2日目 3月2日(木)

	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場
9:40-10:00	SDGs	素材の利用効率	特別セッション： ホットスポット分析 (1)	消費者(1)	木材
10:00-10:20					
10:20-10:40					
10:40-11:00					
11:00-11:20	休憩				
11:20-11:40	特別セッション： 環境教育(1) 環境配慮行動	食と一次産業(2)	特別セッション： ホットスポット分析 (2)	消費者(2)	エネルギーシステム
11:40-12:00					
12:00-12:20					
12:20-12:40					
12:40-13:40	昼休み				
13:40-14:00	特別セッション： 環境教育(2) 学校	食と一次産業(3)	LCTの地域への実装	人間健康	国際貿易
14:00-14:20					
14:20-14:40					
14:40-15:00					
15:00-15:20					
15:20-15:40	休憩				
	P会場				
15:40-16:40	ポスターセッション1 *コアタイムA:奇数番号				
16:40-17:40	ポスターセッション2 *コアタイムB:偶数番号				
17:40-18:00	移動				
18:00-	交流会(厚生棟 1F 厚生センター食堂)				

3日目 3月3日(金)

	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場
9:40-10:00	バイオマス(1)	パリ協定	特別セッション： 組織のLCAと削減 貢献量評価(1) 素材・部品・ プロセスの貢献	製品LCA(2)	
10:00-10:20					ストック・フロー (1)
10:20-10:40					
10:40-11:00					
11:00-11:20	休憩				
11:20-11:40	バイオマス(2)	生物多様性	特別セッション： 組織のLCAと削減 貢献量評価(2) 製品・サービスの 貢献	廃棄物(3)	ストック・フロー (2)
11:40-12:00					
12:00-12:20					
12:20-12:40					
12:40-13:40	昼休み				
	A会場				
13:40-15:05	学会各賞受賞記念講演				
15:05-16:00	クロージング				

全体セッション プログラム

1日目(3月1日(水))

A 会場

13:20-14:20	【基調講演】 プラチナ構想からみたライフサイクル思考への提言 ii 小宮山宏氏（三菱総合研究所，プラチナ構想ネットワーク）
-------------	--

3日目(3月3日(金))

A 会場

13:40-13:55 奨励賞	意思決定支援を指向したライフサイクルアセスメントと多様な手法の統合手法の研究 446 中谷隼（東京大学）
13:55-14:10 論文賞	家庭用太陽熱給湯器のエネルギー収支とライフサイクル CO ₂ 排出量 448 門倉宏子（横浜国立大学）、本藤祐樹（横浜国立大学）
14:10-14:25 論文賞	太陽光発電システムへの心理的近接性が省エネルギー意識・行動に及ぼす影響 457 藤本ひかり（横浜国立大学）、本藤祐樹（横浜国立大学）、弘中雄介（横浜国立大学）
14:25-14:45 功績賞	交通分野へのライフサイクル思考の適用 470 加藤博和（名古屋大学）
14:45-15:05 功労賞	LCA の国内基盤構築と国際的地位確立への貢献 稲葉敦（工学院大学）
15:05-16:00	クロージング

パラレルセッションプログラム

1 日目 (3月1日(水))

◎は登壇者

9:40 ~ 11:00

◆ A 会場 <持続的な資源利用>

座長：橋本征二（立命館大学）

9:40-10:00 A1-01	循環型社会、Circular Economy の先に見えるもの 2 ◎原田幸明（物材機構）
10:00-10:20 A1-02	希少金属の需要の増大と社会的持続可能性との関係の評価 4 ◎塚本尚（京都大学）、南斉規介（国立環境研究所）、東野達（京都大学）
10:20-10:40 A1-03 (P2-066)	インジウムの需給バランスから見た太陽光パネルリサイクルの意義 6 ◎高柳達（立命館大学）、中島謙一（国立環境研究所）、村上進亮（東京大学）、橋本征二（立命館大学）
10:40-11:00 A1-04 (P2-076)	半導体産業に着目した窒素のマテリアルフロー分析 8 ◎片桐究（東北大学）、松八重一代（東北大学）、竹田修（東北大学）、朱鴻民（東北大学）、長坂徹也（東北大学）

◆ B 会場 <再生可能エネルギー>

座長：森泉由恵（横浜国立大学）

9:40-10:00 B1-01	離島における海洋温度差発電（OTEC）の効果と影響 10 ◎小野奈都美（沖縄エネテック）、池上康之（佐賀大学）、岡村盡（ゼネシス）、中村幸雄（久米島町）、伊藝聡（沖縄エネテック）、伊佐真賢（沖縄エネテック）、田原聖隆（産業技術総合研究所）
10:00-10:20 B1-02	LCA 手法に基づくメキシコ・テワンテペク地峡における風力発電の環境影響・コストの統合指標による解析 12 ◎幸村仁磨（京都大学）、東野進（京都大学）
10:20-10:40 B1-03 (P2-053)	地域単位での地中熱ヒートポンプのライフサイクル CO ₂ 削減効果 14 ◎早乙女裕紀（横浜国立大学）、本藤祐樹（横浜国立大学）、森泉由恵（横浜国立大学）
10:40-11:00 B1-04	太陽熱利用システムの基礎自治体別 CO ₂ 削減コスト 16 ◎清水恭亮（横浜国立大学）、本藤祐樹（横浜国立大学）、森泉由恵（横浜国立大学）

◆ C 会場 <コミュニケーション>

座長：文多美（東京大学）

9:40-10:00 C1-01 (P2-030)	消費者の環境配慮製品選択を促す情報表示の設計 18 ◎石川奈那（東京大学）、文多美（東京大学）、平尾雅彦（東京大学）
10:00-10:20 C1-02	食料品の購買による CO ₂ 排出量の傾向と削減策に関する一考察 20 ◎中島寛則（名古屋市環境科学調査センター）
10:20-10:40 C1-03	新たな食品表示制度下における環境コミュニケーションの提案 22 ◎藤原なつみ（立命館大学）、吉川直樹（立命館大学）
10:40-11:00 C1-04	食意識・環境意識が消費者のライフサイクル環境情報に対する評価に与える影響 24 ◎吉川直樹（立命館大学）、天野耕二（立命館大学）

◆ D 会場 <製品 LCA(1)>

座長：菊池康紀（東京大学）

9:40-10:00 D1-01 (P2-041)	森林保全を考慮したピアノの環境影響評価 26 ◎渡邊杜人（東京都市大学）、伊坪徳宏（東京都市大学）
10:00-10:20 D1-02 (P2-040)	電子書籍端末による読書習慣と満足度の変化を考慮した、読書における環境影響評価 28 ◎天沢逸里（東京大学）、井原智彦（東京大学）、花木啓祐（東京大学）

10:20-10:40 D1-03 (P2-024)	UV 印刷を対象とした環境影響評価 30 ◎川島雄介 (東京都市大学), 内田弘美 (東洋インキ SC ホールディングス), 富川恵子 (東洋インキ SC ホールディングス), 伊坪徳宏 (東京都市大学)
10:40-11:00 D1-04	東京染小紋ネクタイのライフサイクルアセスメント調査 32 ◎田村賢祐 (NTT アドバンステクノロジー), 佐々木重邦 (武蔵野大学), 十村勝 (NTT アドバンステクノロジー), 北原康雄 (NTT アドバンステクノロジー)

◆ E 会場 <建築・住宅>

座長：小澤暁人（産業技術総合研究所）

9:40-10:00 E1-01	建築分野における LCA の活用実態と課題 34 ◎小林謙介 (県立広島大学), 磯部孝行 (武蔵野大学), 阿保ことり (県立広島大学), 新家佑城 (県立広島大学), 佐藤整央 (県立広島大学)
10:00-10:20 E1-02	2011 年版産業連関表を用いた建築実務者向け原単位データベースの構築 36 CO ₂ 排出量およびエネルギー消費原単位の開発状況 ◎外岡豊 (埼玉大学), 小林謙介 (県立広島大学), 前田拓生 (高崎商科大学)
10:20-10:40 E1-03	住宅の高性能化による建設廃棄物への影響に関する研究 38 ◎磯部孝行 (武蔵野大学), 小林謙介 (県立広島大学)
10:40-11:00 E1-04 (P2-085)	高断熱住宅の普及に影響する地域特性を考慮した自治体の評価手法の提案 40 ◎石戸拓朗 (慶應義塾大学), 伊香賀俊治 (慶應義塾大学), 川久保俊 (法政大学), 鈴木健太郎 (慶應義塾大学), 山崎潤也 (慶應義塾大学), 大東開智 (慶應義塾大学)

11:20 ~ 12:20

◆ A 会場 <交通>

座長：井上麻衣（産業技術総合研究所）

11:20-11:40 A1-06 (P2-098)	資源消費と大気汚染を考慮した鉄道車両の環境フットプリント 42 ◎岩倉湧也 (東京都市大学), 伊坪徳宏 (東京都市大学)
11:40-12:00 A1-07	Effective speed 指標を用いた交通機関の環境性能評価手法の提案 44 ◎河合一輝 (名古屋大学), 加藤博和 (名古屋大学)
12:00-12:20 A1-08	ライフサイクル思考に基づく海外再エネ起源水素の自動車用燃料としての位置付けの検討 46 ◎工藤祐揮 (産業技術総合研究所), 北川直美 (産業技術総合研究所), 村松良二 (産業技術総合研究所), 井上麻衣 (産業技術総合研究所), 小澤暁人 (産業技術総合研究所), 玄地裕 (産業技術総合研究所)

◆ B 会場 <水素・燃料電池>

座長：小井土賢二（福島大学）

11:20-11:40 B1-06	産業連関表を用いた水素エネルギーシステムのライフサイクル雇用分析 48 ◎稗貫峻一 (横浜国立大学), 野口和彦 (横浜国立大学)
11:40-12:00 B1-07 (P2-055)	2 段 PSA と酸化金属を用いた複数段でのバイオ水素の低温脱硫システムの環境評価 50 ◎黒田祥平 (東京理科大学), 堂脇清志 (東京理科大学)
12:00-12:20 B1-08 (P2-054)	LCA 分析を考慮した家庭用 SOFC-CGS における環境的統合化指標の提案 52 ◎佐藤聖史 (東京理科大学)

◆ C 会場 <食品廃棄物>

座長：天野耕二（立命館大学）

11:20-11:40 C1-06	食品廃棄物のリサイクルによる環境便益評価 ◎岡橋拓哉（九州大学）、加河茂美（九州大学）	54
11:40-12:00 C1-07 (P2-010)	外食産業を対象にした食品ロスと廃棄物の環境影響評価 ◎小川俊治（東京都市大学）、伊坪徳宏（東京都市大学）	56
12:00-12:20 C1-08	大学キャンパスを中心としたバイオマス有効利用シナリオの検討 ◎細川裕（立命館大学）、吉川直樹（立命館大学）、天野耕二（立命館大学）	58

◆ D 会場 <廃棄物 (1)>

座長：稲葉陸太（国立環境研究所）

11:20-11:40 D1-06	下水処理 - 藻類培養統合プロセスにおける導入技術選択に資するライフサイクルアセスメント ◎鈴木征史（東北大学）、大野肇（東北大学）、福島康裕（東北大学）	60
11:40-12:00 D1-07	セメント直接原料化の見直しに向けた脱水污泥資源化オプションの比較評価 ◎中久保豊彦（お茶の水女子大学）、小池夏帆（お茶の水女子大学）	62
12:00-12:20 D1-08	廃棄物焼却熱の産業利用システムでの主体間 GHG アカウンティング配分手法の検討 ◎大西悟（東京理科大学）、YiDou（国立環境研究所）、藤井実（国立環境研究所）、稲葉陸太（国立環境研究所）	64

14:40 ~ 16:20

◆ A 会場 <資源リスク>

座長：醍醐市朗（東京大学）

14:40-15:00 A1-16 (P2-074)	責任あるニッケル資源利用に向けたサプライチェーンリスク要因解析 ◎佐々木翔（東北大学）、松八重一代（東北大学）、中島謙一（国立環境研究所）、村上進亮（東京大学）、長坂徹也（東北大学）	66
15:00-15:20 A1-17 (P2-067)	包括的なリスク要因抽出に基づいた銅のサプライチェーンリスク解析 ◎山崎裕貴（東北大学）、松八重一代（東北大学）、中島謙一（国立環境研究所）、村上進亮（東京大学）、長坂徹也（東北大学）	68
15:20-15:40 A1-18 (P2-107)	生産資源の安定的供給に向けたクリティカリティ評価手法の構築 ◎中駄将人（東京大学）、醍醐市朗（東京大学）、後藤芳一（東京大学）、畑山博樹（国立研究開発法人 産業技術総合研究所）	70
15:40-16:00 A1-19	供給障害事象に基づく鉱物資源の供給リスク指標開発 ◎高橋裕也（東京大学）、村上進亮（東京大学）	72
16:00-16:20 A1-20	事例分析に基づいた資源リスク評価手法の検討 ◎畑山博樹（産業技術総合研究所）、田原聖隆（産業技術総合研究所）	74

◆ B 会場 <気候変動の緩和策と適応策>

座長：内田裕之（みずほ情報総研）

14:40-15:00 B1-16	気候変動の緩和策と適応策を対象としたライフサイクル影響評価 ◎伊坪徳宏（東京都市大学）、湯龍龍（農研機構）、小野雄也（東京大学）、小関康雄（東京都市大学）、正嶋浩一（TCO2）、内田裕之（みずほ情報総研）、古島康（みずほ情報総研）、沖大幹（東京大学）	76
15:00-15:20 B1-17	メタ分析を駆使した電力のライフサイクル評価 ◎八坂慶仁（TCO2 株式会社）、正嶋宏一（TCO2 株式会社）、伊坪徳宏（東京都市大学）	78
15:20-15:40 B1-18	植物を対象とした CO ₂ の生物種絶滅リスク係数の開発 ◎湯龍龍（国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構）、大橋春香（国立研究開発法人森林総合研究所）、松井哲哉（国立研究開発法人森林総合研究所）、田中信行（東京農業大学）、伊坪徳宏（東京都市大学）	80
15:40-16:00 B1-19	共通社会経済シナリオ SSP を用いた CO ₂ の健康被害係数の開発 ◎湯龍龍（国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構）、古島康（みずほ情報総研株式会社）、伊坪徳宏（東京都市大学）	82

16:00-16:20 B1-20	気候変動適応策としての浄水器を対象とした費用便益分析 84 ◎小関康雄（東京都市大学）、森孝（浄水器協会）、伊坪徳宏（東京都市大学）
----------------------	---

◆ C 会場 <バイオ燃料>

座長：大野肇（東北大学）

14:40-15:00 C1-16	LCA に基づく新バイオディーゼル製造プロセスのイノベーション支援モデル 86 ◎陳怡靜（東北大学大学院工学研究科 化学工学専攻）、彭劭琳（東北大学大学院工学研究科 化学工学専攻）、北川尚美（東北大学大学院工学研究科 化学工学専攻）、大野肇（東北大学大学院工学研究科 化学工学専攻）、福島康裕（東北大学大学院工学研究科 化学工学専攻）
15:00-15:20 C1-17 (P2-058)	藻類バイオマスを用いた航空機の環境影響評価 88 ◎根本知亜記（東京都市大学）、伊坪徳宏（東京都市大学）
15:20-15:40 C1-18	バイオ燃料の持続可能性評価に関する研究 90 地方自治体の廃食用油 BDF 化事業の環境面および経済面の評価 ◎王任卓（早稲田大学大学院）、納富信（早稲田大学大学院）
15:40-16:00 C1-19	バイオ燃料の持続可能性評価に関する研究 92 地方自治体の廃食用油 BDF 化事業の社会面の評価 ◎王任卓（早稲田大学大学院）、納富信（早稲田大学大学院）
16:00-16:20 C1-20	総合討論

◆ D 会場 <廃棄物 (2)>

座長：大西悟（東京理科大学）

14:40-15:00 D1-16 (P2-095)	Development of municipal solid waste collection system in Jalalabad city, Afghanistan 94 ◎BawarMohammad Jamal（立命館大学）、橋本征二（立命館大学）
15:00-15:20 D1-17	ライフサイクル処理単価による廃棄物処理施設の最適寿命の推定 96 ◎稲葉陸太（国立環境研究所）、田崎智宏（国立環境研究所）
15:20-15:40 D1-18 (P2-091)	人口減少社会における一般廃棄物処理施設のマネジメント 98 ◎渡辺梓（立命館大学）、橋本征二（立命館大学）
15:40-16:00 D1-19 (P2-094)	中国広東省における建築廃棄物の持続可能な管理に着目した廃棄物産業連関表の構築 100 ◎董岩（東北大学）、松八重一代（東北大学）
16:00-16:20 D1-20	総合討論

◆ E 会場 <自動車>

座長：工藤祐揮（産業技術総合研究所）

14:40-15:00 E1-16	日本における CAFE 基準と CO ₂ 排出量の関係分析 102 ◎金子満来（九州大学）、加河茂美（九州大学）
15:00-15:20 E1-17 (P2-099)	自動車の技術変化と素材に着目した資源需要分析 104 ◎松井健裕（東北大学）、松八重一代（東北大学）、山末英嗣（立命館大学）、長坂徹也（東北大学）
15:20-15:40 E1-18 (P2-097)	電気自動車用リチウムイオン電池のリユース及びリサイクルにおける技術選択支援 106 ◎阿部将宜（東京大学）、杉山弘和（東京大学）、平尾雅彦（東京大学）
15:40-16:00 E1-19	HV と EV の優位性を分ける経済・環境・技術条件の可視化 108 ◎原卓也（豊田中央研究所）
16:00-16:20 E1-20 (P2-096)	全日本学生フォーミュラ大会参加車両の環境影響評価 110 ◎越田悠揮（東京都市大学）、伊坪徳宏（東京都市大学）

16:40 ~ 18:00

◆ A 会場 <鉄鋼>

座長：山末英嗣（立命館大学）

16:40-17:00 A1-22 (P2-072)	日本における鉄鋼材中の不純物元素濃度の決定要因の解明 112 ◎太田暁（東京大学大学院）、醍醐市朗（東京大学大学院）、後藤芳一（東京大学大学院）
17:00-17:20 A1-23 (P2-073)	日本とオランダにおける鉄スクラップへの不純物元素混入源の比較 114 ◎額額将太（東京大学）、醍醐市朗（東京大学大学院）、後藤芳一（東京大学大学院）
17:20-17:40 A1-24 (P2-071)	動的 MFA を用いた鉄鋼循環に伴う Ni および Cr の散逸削減可能性の推算 116 ◎武山健太郎（東北大学）、大野肇（東北大学）、松八重一代（東北大学）、中島謙一（国立環境研究所）、近藤康之（早稲田大学）、長坂徹也（東北大学）
17:40-18:00 A1-25 (P2-064)	関与物質総量を用いた日本の鋼材生産に関わる採掘活動量の定量化 118 ◎小柳津顕（立命館大学）、CraviotoJordi（立命館大学）、中島謙一（国立環境研究所）、松八重一代（東北大学）、村上進亮（東京大学）、山末英嗣（立命館大学）

◆ B 会場 <水>

座長：小関康雄（東京都市大学）

16:40-17:00 B1-22 (P2-103)	気候変動の適応策を考えた節水トイレの環境影響評価 120 ◎岡崎真優子（東京都市大学）、佐々木秀樹（パナソニック株式会社）、伊坪徳宏（東京都市大学）
17:00-17:20 B1-23 (P2-104)	逆浸透法を用いた海水淡水化施設の環境影響評価 122 ◎黒川賢治（東京都市大学）、伊坪徳宏（東京都市大学）、小関康雄（東京都市大学）、大熊那夫紀（一般財団法人造水促進センター）、杉本和明（一般財団法人造水促進センター）
17:20-17:40 B1-24	合意形成に基づいた 水利用による影響評価モデルの開発 124 － UNEP/SETAC ライフサイクルイニシアチブと WULCA からの推奨 － BoulayAnne-Marie（CIRAIG）、PfisterStephan（ETH Zurich）、◎本下晶晴（産業技術総合研究所）
17:40-18:00 B1-25	環境産業連関表を用いた 2000 ～ 2011 年までのベトナムにおける経済・環境影響の構造分析 126 ◎ NguyenThi Hoa（Graduate School of Engineering, Osaka University）

◆ C 会場 <データベース>

座長：中野勝行（産業環境管理協会）

16:40-17:00 C1-22	IDEA データとの連結による JLCA データベースの有用性向上 128 電線業界を例として 柴原尚希（産業環境管理協会）、◎仲井俊文（産業環境管理協会）、神崎昌之（産業環境管理協会）、中野勝行（産業環境管理協会）、田原聖隆（産業技術総合研究所）、村松良二（産業技術総合研究所）、橋本大（電線総合技術センター）、小坂裕（電線総合技術センター）
17:00-17:20 C1-23	IDEA マトリックスを利用した社会経済用データベースの開発 130 ◎塚原建一郎（産業技術総合研究所）、田原聖隆（産業技術総合研究所）
17:20-17:40 C1-24 (P2-062)	産業連関分析を用いた日本におけるマテリアルフットプリントの評価基盤の構築と活用 132 ◎永野健太（東京都市大学）、伊坪徳宏（東京都市大学）
17:40-18:00 C1-25 (P2-021)	PRTR 対象物質に着目したケミカルフットプリントデータベースの開発 134 ◎小藤直（東京都市大学）、伊坪徳宏（東京都市大学）

◆ D 会場 <災害>

座長：中谷隼（東京大学）

16:40-17:00 D1-22	災害廃棄物処理のインベントリデータの作成 136 ◎田畑智博（神戸大学）、佐伯孝（富山県立大学）
17:00-17:20 D1-23	災害廃棄物の広域処理に対する住民の受容意識と方略 138 ◎蔡佩宜（神戸大学）、田畑智博（神戸大学）

17:20-17:40 D1-24 (P2-093)	災害廃棄物処理システムの環境的、経済的評価方法の開発 140 ◎若林陽平（神戸大学）
17:40-18:00 D1-25	南海トラフ巨大地震が与える地域経済網と炭素排出管理への影響解析 142 ◎畑奨（京都大学）、南斉規介（国立環境研究所）、加河茂美（九州大学）、東野達（京都大学）

◆ E会場 <食と一次産業（1）>

座長：萩野暁史（農業・食品産業技術総合研究機構）

16:40-17:00 E1-22	食品残渣堆肥を活用した農作物栽培のライフサイクル評価 144 ◎松田朋也（立命館大学）、吉川直樹（立命館大学）、天野耕二（立命館大学）
17:00-17:20 E1-23 (P2-005)	リンの施肥による増収効果に着目したリン資源の環境効率評価 146 ◎野木茜（立命館大学大学院）、村上進亮（東京大学）、粟生木千佳（立命館大学大学院、地球環境戦略研究機関）、橋本征二（立命館大学）
17:20-17:40 E1-24 (P2-006)	低炭素農法を目的としたカーボンフリー CO ₂ を用いた野菜の生産性向上及び LCA 解析 148 ◎井手啓介（東京理科大学）、堂脇清志（東京理科大学）、北畑信隆（東京理科大学）
17:40-18:00 E1-25 (P2-004)	農産物の新たな複合的環境指標の提案 150 ◎渡辺泰子（東京理科大学）、堂脇清志（東京理科大学）

2日目 (3月2日(木))

◎は登壇者

9:40 ~ 11:00

◆ A会場 <SDGs>

座長：平尾雅彦（東京大学）

9:40-10:00 A2-01 (P2-043)	労働に注目したソーシャルLCA用データベース開発 154 ◎唐戸将大（東京都市大学）、伊坪徳宏（東京都市大学）
10:00-10:20 A2-02 (P2-044)	SLCAを用いた綿製衣料品の製造過程における労働問題のホットスポット分析 156 ◎土屋潔浩（東京大学）、井原智彦（東京大学）
10:20-10:40 A2-03 (P2-079)	OECD加盟国内における都市品質と住民の生活満足度の関係 158 ◎藤田省一郎（慶應義塾大学）、伊香賀俊治（慶應義塾大学）、村上周三（建築環境・省エネルギー機構）、川久保俊（法政大学）、山崎潤也（慶應義塾大学）、鈴木健太郎（慶應義塾大学）
10:40-11:00 A2-04 (P2-082)	持続可能な開発目標の理念に基づく新興国を対象とした都市品質格差の時系列評価 160 ◎邊見隼人（慶應義塾大学）、伊香賀俊治（慶應義塾大学）、村上周三（建築環境・省エネルギー機構）、川久保俊（法政大学）、山崎潤也（慶應義塾大学）、藤田省一郎（慶應義塾大学）

◆ B会場 <素材の利用効率>

座長：重富陽介（長崎大学）

9:40-10:00 B2-01	素材のための新しいLCAの枠組み構築 162 ◎醍醐市朗（東京大学）、中島謙一（国立環境研究所）、山末英嗣（立命館大学）、松八重一代（東北大学）、畑山博樹（産業技術総合研究所）、小林能直（東京工業大学）
10:00-10:20 B2-02 (P2-077)	金属材料の耐腐食性機能の定量評価手法の構築 164 ◎吾妻優美（東京大学）、醍醐市朗（東京大学）、後藤芳一（東京大学）
10:20-10:40 B2-03	日本の各都道府県の資源蓄積量を考慮した環境効率性指標の構築とその応用 166 ◎江口昌伍（九州大学）
10:40-11:00 B2-04	日本における鉄鋼材料の環境影響、エネルギー消費と機械的特性の相互関係分析：データ包括解析（DEA）手法 168 ◎CraviotoJordi（立命館大学）

◆ C会場 <特別セッション：ホットスポット分析(1)>

座長：田原聖隆（産業技術総合研究所）

9:40-10:00 C2-01	グリーン購入推進に向けたホットスポット分析の評価手法の構築と社会実装 170 ◎伊坪徳宏（東京都市大学）、田原聖隆（産業技術総合研究所）、近藤康之（早稲田大学）、佐野裕隆（日本環境協会）、神崎昌之（産業環境管理協会）
10:00-10:20 C2-02	IDEAにおける環境負荷項目の拡充 172 電離放射線およびPRTR対象物質 ◎田原聖隆（産業技術総合研究所）、藤井千陽（産業技術総合研究所）、高田亜佐子（産業技術総合研究所）、紀平茂雄（S&R）
10:20-10:40 C2-03	廃棄物産業連関表の推計とホットスポット分析への応用 174 ◎近藤康之（早稲田大学）、立尾浩一（日本環境衛生センター）、溝田健一（日本環境衛生センター）、池本久利（日本環境衛生センター）、中村慎一郎（早稲田大学）
10:40-11:00 C2-04	日本のLCA評価基盤に基づくホットスポット分析手法の開発とケーススタディ 176 ◎鈴木春生（東京都市大学）、一杉佑貴（東京都市大学）、村主さとみ（東京都市大学）、近藤康之（早稲田大学）、田原聖隆（産業技術総合研究所）、藤井千陽（産業技術総合研究所）、有間俊彦（東京都市大学）、伊坪徳宏（東京都市大学）

◆ D会場 <消費者(1)>

座長：鷺津明由（早稲田大学）

9:40-10:00 D2-01 (P2-033)	産業連関表と家計支出統計の接続表を用いたカーボンフットプリントのGHG排出削減効果の推計 178 ◎環野真紀（東京大学）、浅野康仁（京都大学）、井原智彦（東京大学）
---------------------------------	---

10:00-10:20 D2-02	家庭における時間帯別省エネポテンシャルの推計ー社会生活基本調査を用いてー ◎平湯直子（武蔵野大学）、鷺津明由（早稲田大学）	180
10:20-10:40 D2-03 (P2-102)	家計消費とプラネタリー・バウンダリー：淡水利用について ◎佐々木貴央（立命館大学）、本下晶晴（産業技術総合研究所）、南斉規介（国立環境研究所）、橋本征二（立命館大学）	182
10:40-11:00 D2-04 (P2-032)	消費者の生活価値観と環境配慮行動の関係 ◎木村大（千葉工業大学）、柴田清（千葉工業大学）	184

◆ E 会場 <木材>

座長：服部順昭（東京農工大学）

9:40-10:00 E2-01	将来の国産材需給と木質バイオマス発電所の立地適性 ◎大澤一岳（東京大学、和歌山県）、徐夢荷（東京大学）、兼松祐一郎（東京大学）、大久保達也（東京大学）、菊池康紀（東京大学）	186
10:00-10:20 E2-02 (P2-109)	樹種別を考慮した木材のインベントリデータベースの開発 ◎土屋成（東京都市大学）、伊坪徳宏（東京都市大学）	188
10:20-10:40 E2-03 (P2-042)	パルプ紙とストーンペーパーの環境影響評価 ◎阪西達矢（工学院大学）、本下晶晴（国立研究開発法人産業技術総合研究所）、田原聖隆（国立研究開発法人産業技術総合研究所）、稲葉敦（工学院大学）	190
10:40-11:00 E2-04	バックグラウンドデータベースの違いによる LCA 結果への影響 パーティクルボードのケーススタディ ◎中野勝行（産業環境管理協会）、瀧川充朗（日本繊維板工業会）、田原聖隆（産業技術総合研究所）、安藤恵介（東京農工大学）、服部順昭（東京農工大学）	192

11:20～12:40

◆ A 会場 <特別セッション：環境教育（1）環境配慮行動>

座長：北村祐介（elsa）

11:20-11:40 A2-06 (P2-035)	ライフサイクル思考の学びが環境配慮行動の意思決定過程に与える影響 -2- ◎田高初奈（横浜国立大学）、平山世志衣（特定非営利活動法人横浜 LCA 環境教育研究会）、高岡由紀子（グリーン購入ネットワーク）、津田祥子（日本 LCA 学会）、水野建樹（特定非営利活動法人横浜 LCA 環境教育研究会）、松本安生（神奈川大学）、松本真哉（横浜国立大学）	194
11:40-12:00 A2-07 (P2-034)	ライフサイクル思考と環境配慮行動の関係性を探る ライフサイクル思考の測定尺度の開発 ◎森健太郎（横浜国立大学）、本藤祐樹（横浜国立大学）	196
12:00-12:20 A2-08	日常の中の自然な働きかけによる環境配慮行動の促進 心理的近接性を高める 2 種の介入実験 ◎弘中雄介（横浜国立大学）、本藤祐樹（横浜国立大学）	198
12:20-12:40 A2-09	環境ラベル認知度から見る消費者特性 ◎藤澤美恵子（金沢大学）	200

◆ B 会場 <食と一次産業（2）>

座長：小原聡（アサヒビール）

11:20-11:40 B2-06 (P2-002)	導入シナリオ分析のための植物工場モデリング ◎富永華子（東京大学）、兼松祐一郎（東京大学）、大久保達也（東京大学）、菊池康紀（東京大学）	202
11:40-12:00 B2-07 (P2-011)	適切化技術によるトマトの食品損失削減シナリオに関する環境インパクト評価 ◎吉沢慎（東京理科大学）	204
12:00-12:20 B2-08 (P2-016)	新冷媒を用いた野菜のコールドチェーンにおける品質維持方法の提案 ◎大野彰之（東京理科大学）、堂脇清志（東京理科大学）	206

12:20-12:40 B2-09 (P2-003)	機能の分析による食品容器包装のライフサイクル設計 208 ◎横川直毅（東京大学）、杉山弘和（東京大学）、平尾雅彦（東京大学）
----------------------------------	---

◆ C 会場 ＜特別セッション：ホットスポット分析 (2)＞

座長：伊坪徳宏（東京都市大学）

11:20-11:40 C2-06	エコマーク認証基準の策定におけるホットスポット分析手法の導入に関する検討 210 ◎佐野裕隆（日本環境協会）、鈴木春生（東京都市大学）、伊坪徳宏（東京都市大学）、田原聖隆（産業技術総合研究所）、近藤康之（早稲田大学）
11:40-12:00 C2-07	タイプⅢ環境宣言と環境ホットスポット分析の相互活用に関わる考察 212 ◎神崎昌之（産業環境管理協会）、片岡顯（産業環境管理協会）、根岸華子（産業環境管理協会）、伊藤聖子（産業環境管理協会）、石塚明克（産業環境管理協会）、伊坪徳宏（東京都市大学）、田原聖隆（産業技術総合研究所）
12:00-12:20 C2-08 (P2-105)	環境・社会側面を対象とした日本版ホットスポット分析手法の開発と活用 214 ◎一杉佑貴（東京都市大学）、村主さとみ（東京都市大学）、鈴木春生（東京都市大学）、藤井千陽（国立研究開発法人 産業技術総合研究所）、田原聖隆（国立研究開発法人 産業技術総合研究所）、近藤康之（早稲田大学）、伊坪徳宏（東京都市大学）
12:20-12:40 C2-09	総合討論

◆ D 会場 ＜消費者 (2)＞

座長：加河茂美（九州大学）

11:20-11:40 D2-06	訪日外国人の消費行動が CO ₂ 排出量に与える影響 216 ◎柴田睦美（九州大学）、加河茂美（九州大学）、白新田佳代子（九州大学）
11:40-12:00 D2-07 (P2-022)	アパレル産業における消費者嗜好を考慮した環境影響評価 218 ◎酒匂郁輔（東京理科大学）
12:00-12:20 D2-08 (P2-027)	レガシーと持続可能性を考慮したイベント評価手法の開発と活用 220 ◎池田雄貴（東京都市大学）、越川延明（セレスポ）、伊坪徳宏（東京都市大学）
12:20-12:40 D2-09	総合討論

◆ E 会場 ＜エネルギーシステム＞

座長：栗栖聖（東京大学）

11:20-11:40 E2-06	ICT サービスの導入がわが国のエネルギー需要と二酸化炭素排出量の削減に及ぼす影響 222 ◎棟居洋介（東京工業大学）、上野捷（東京工業大学）、鶴見真子（東京工業大学）、張曉曦（NTT ネットワーク基盤技術研究所）、折口壮志（NTT ネットワーク基盤技術研究所）、飯橋真輔（NTT ネットワーク基盤技術研究所）
11:40-12:00 E2-07	オールドニュータウンの更新に合わせたエネルギーマネジメント技術導入可能性の検討 224 ◎長尾和哉（名古屋大学）、加藤博和（名古屋大学）
12:00-12:20 E2-08 (P2-088)	マイクログリッドによる CO ₂ 削減効果から見た街区構成と生活スケジュールの評価 226 ◎佐藤惇（東京大学大学院）、栗栖聖（東京大学大学院）、花木啓祐（東京大学大学院）
12:20-12:40 E2-09	使用条件の異なる家庭用エネルギー機器によるコスト・CO ₂ 排出量 228 ◎小澤暁人（産業技術総合研究所）、工藤祐揮（産業技術総合研究所）、田原聖隆（産業技術総合研究所）

13:40～15:20

◆ A 会場 <特別セッション：環境教育 (2) 学校>

座長：松本真哉（横浜国立大学）

13:40-14:00 A2-13	印刷を対象としたライフサイクルすごろくのコンテンツ開発と実践の事例 230 ～カーボンオフセットの選択肢を加えて～ ◎北村祐介 (elsa, プリプレス・センター), 藤永颯人 (東京都市大学), 小藤直 (東京都市大学), 海老原誠治 (資源と環境の教育を考える会「エコが見える学校」, 三信化工), 高岡由紀子 (資源と環境の教育を考える会「エコが見える学校」, グリーン購入ネットワーク), 西尾チヅル (資源と環境の教育を考える会「エコが見える学校」, 筑波大学), 伊坪徳宏 (東京都市大学)
14:00-14:20 A2-14	ライフサイクル・TMR・生活・文化を通じた環境プログラム、事例と行動変容 232 学びと遊びに関する受容性 ◎海老原誠治 (資源と環境の教育を考える会「エコが見える学校」, 三信化工株式会社), 高岡由紀子 (資源と環境の教育を考える会「エコが見える学校」, グリーン購入ネットワーク), 堀川悦夫 (佐賀大学), 西尾チヅル (資源と環境の教育を考える会「エコが見える学校」, 筑波大学)
14:20-14:40 A2-15	小中学校におけるライフサイクル思考に基づく環境教育プログラム 234 雨水で育てる緑のカーテンを使った7年間の実践記録 ◎笠井利浩 (福井工業大学), 荒木史代 (福井工業大学)
14:40-15:00 A2-16	高校生の主体的学びが地域の持続可能性に及ぼす効果 236 愛媛県内子町におけるヒューマンソーシャルライフサイクル分析 (その2) ◎中口毅博 (芝浦工業大学)
15:00-15:20 A2-17 (P2-036)	ライフサイクル思考に基づく環境教育実施による体系的な思考力に対する影響 238 ◎森正敬之 (東京都市大学), 北村祐介 (elsa), 伊坪徳宏 (東京都市大学)

◆ B 会場 <食と一次産業 (3)>

座長：吉川直樹（立命館大学）

13:40-14:00 B2-13	交雑種および乳用種を用いた肉用牛生産の温室効果ガス排出量 240 ◎荻野暁史 (農業・食品産業技術総合研究機構), 山下恭広 (農業・食品産業技術総合研究機構), 長田隆 (農業・食品産業技術総合研究機構)
14:00-14:20 B2-14	有機的管理による国産グラスフェッドビーフの環境影響評価 242 ◎堤道生 (農業・食品産業技術総合研究機構), 小野泰 (北里大学), 小笠原英毅 (北里大学), 寶示戸雅之 (北里大学)
14:20-14:40 B2-15	日本の漁業部門の環境生産性分析 244 ◎敷田和哉 (九州大学), 加河茂美 (九州大学)
14:40-15:00 B2-16	大規模料理レシピ解析による「食」に関わる関与物質総量の算定 246 ◎石井裕剛 (京都大学), BenjaminMcLellan (京都大学), 山末英嗣 (立命館大学)
15:00-15:20 B2-17	ビール醸造副産物由来の肥料を活用したゴルフコース管理における農薬削減効果のライフサイクル評価 248 ◎林清忠 (農業・食品産業技術総合研究機構), 北川隆徳 (アサヒグループホールディングス株式会社), 御影佳孝 (アサヒグループホールディングス株式会社), 高崎智子 (アサヒグループホールディングス株式会社)

◆ C 会場 <LCT の地域への実装>

座長：栗島英明（芝浦工業大学）

13:40-14:00 C2-13	ライフサイクル思考の社会実装：種子島の例 250 ◎菊池康紀 (東京大学), 尾下優子 (神戸大学), 福島康裕 (東北大学)
14:00-14:20 C2-14 (P2-001)	植物資源利活用に向けた農工横断型プロセスモデリング 252 ◎大内田弘太郎 (東京大学), 富永華子 (東京大学), 牟田侑樹 (東京大学), 兼松祐一郎 (東京大学), 大久保達也 (東京大学), 菊池康紀 (東京大学)
14:20-14:40 C2-15	砂糖・バイオエタノール逆転生産プロセスの導入による GHG 排出削減効果 254 ◎福島康裕 (東北大学), 小原聡 (アサヒグループホールディングス), 大内田弘太郎 (東京大学), 菊池康紀 (東京大学)
14:40-15:00 C2-16	気象変動を考慮したバイオマス利用システムの製品 LCA のありかた 256 ◎中村遼太郎 (東北大学), 大内田弘太郎 (東京大学), 菊池康紀 (東京大学), 小原聡 (アサヒグループホールディングス), 大野肇 (東北大学), 福島康裕 (東北大学)

15:00-15:20 C2-17	イノベーション支援ツールとしての LCA ◎福島康裕（東北大学）	258
----------------------	-------------------------------------	-----

◆ D 会場 ＜人間健康＞

座長：湯龍龍（農業・食品産業技術総合研究機構）

13:40-14:00 D2-13	内生型構造経路分析を用いたアジア地域における炭素質エアロゾルの排出分析 ◎永島史弥（九州大学），加河茂美（九州大学），南斉規介（国立環境研究所）	260
14:00-14:20 D2-14 (P2-045)	室内空気質汚染と一般大気汚染を対象としたライフサイクル健康影響評価手法の開発 ◎枝廣あかり（東京都市大学），湯龍龍（農業環境技術研究所），伊坪徳宏（東京都市大学）	262
14:20-14:40 D2-15 (P2-048)	地域性を考慮した飛行機騒音の健康影響評価 ◎山本遼（東京都市大学），伊坪徳宏（東京都市大学）	264
14:40-15:00 D2-16 (P2-047)	ジャカルタにおける睡眠困難の実態把握とエアコン導入効果の定量化 草間蓮（東京大学），◎井原智彦（東京大学）	266
15:00-15:20 D2-17 (P2-046)	日常生活における低線量被曝を対象とした健康影響評価 ◎寺本麻実（東京都市大学），伊坪徳宏（東京都市大学）	268

◆ E 会場 ＜国際貿易＞

座長：南斉規介（国立環境研究所）

13:40-14:00 E2-13	中国からの輸出に起因する二酸化炭素排出量の多地域産業連関分析 ◎劉倩（早稲田大学），近藤康之（早稲田大学）	270
14:00-14:20 E2-14	低炭素社会シナリオに応じた国際資源フローの将来推計手法の開発 ◎森岡涼子（国立環境研究所），津田宏治（東京大学），中島謙一（国立環境研究所），南斉規介（国立環境研究所）	272
14:20-14:40 E2-15 (P2-101)	国際貿易を考慮した食料消費に関わる淡水資源需給バランスの将来シナリオ評価 ◎山口陽平（立命館大学），田村賢人（立命館大学），吉川直樹（立命館大学），橋本征二（立命館大学），天野耕二（立命館大学）	274
14:40-15:00 E2-16	世界経済における二酸化炭素排出貿易のネットワーク分析 ◎時任翔平（九州大学），加河茂美（九州大学）	276
15:00-15:20 E2-17	各国の自動車寿命と自動車市場の変化が世界のライフサイクル CO ₂ 排出量に与える影響 ◎中本裕哉（九州大学），加河茂美（九州大学）	278

3日目 (3月3日(金))

◎は登壇者

9:40 ~ 11:00

◆ A 会場 <バイオマス (1)>

座長：兼松祐一郎（東京大学）

9:40-10:00 A3-01 (P2-049)	低圧バイオメタノール合成システムのインパクト評価 282 ◎石山智之（東京理科大学）、布浦鉄兵（東京大学）、堂脇清志（東京理科大学）
10:00-10:20 A3-02 (P2-059)	バイオガソリン製造用触媒の設計への LCA の適用 284 ◎奥山泰世（昭和シェル石油）、小池充（昭和シェル石油）、田村正純（東北大学大学院）、中川善直（東北大学大学院）、今井章雄（昭和シェル石油）、富重圭一（東北大学大学院）、福島康裕（東北大学大学院）
10:20-10:40 A3-03	バイオマス由来 PET 製造における CO ₂ 排出量の検討 286 ◎仙波壽朗（飯田女子短期大学）、稲葉敦（工学院大学）
10:40-11:00 A3-04	日本の環境効率算定に向けて：バイオマス製品の環境影響の評価 288 ◎ DENTESebastien M.R.（立命館大学）、加用千裕（東京農工大学）、粟生木千佳（地球環境戦略研究機関）、田原聖隆（国立研究開発法人産業技術総合研究所）、橋本征二（立命館大学）

◆ B 会場 <パリ協定>

座長：近藤康之（早稲田大学）

9:40-10:00 B3-01 (P2-081)	2050 年に向けた日本の産業のシナリオ検討 290 ◎玄地裕（産業技術総合研究所）、稲葉敦（工学院大学）
10:00-10:20 B3-02	世界の構造変化が CO ₂ 排出に果たす役割 292 ◎白新田佳代子（九州大学）、岡本隼輔（尾道市立大学）
10:20-10:40 B3-03	「一億総活躍社会」におけるパリ協定達成への課題 294 ◎重富陽介（長崎大学）、南斉規介（国立環境研究所）、加河茂美（九州大学）、東野達（京都大学）
10:40-11:00 B3-04	世界各國の生産性向上が二酸化炭素排出に与える影響 296 ◎高敷広隆（九州大学）

◆ C 会場 <特別セッション：組織の LCA と削減貢献量評価 (1) 素材・部品・プロセスの貢献>

座長：本下晶晴（産業技術総合研究所）

9:40-10:00 C3-01 (P2-116)	産業連関分析を活用した組織の環境フットプリント評価手法の開発 298 ◎村主さとみ（東京都市大学）、一杉佑貴（東京都市大学）、田原聖隆（国立研究開発法人 産業技術総合研究所）、近藤康之（早稲田大学）、伊坪徳宏（東京都市大学）
10:00-10:20 C3-02	組織のウォーターフットプリント分析を目的とした新規ツールの開発 300 ◎大橋憲司（株式会社資生堂）、ムルンテムールン（株式会社資生堂）、高橋透（アサヒグループホールディングス株式会社）、木下順次（イオン株式会社）、能勢泰祐（積水化学工業株式会社）、高橋拓（大日本印刷株式会社）、水谷敦司（株式会社竹中工務店）、吉村祐美（東洋製罐株式会社）、田村光範（株式会社日立製作所）
10:20-10:40 C3-03	組織単位の環境パフォーマンス評価による環境側面の抽出事例報告 302 ◎山崎啓之（TOTO）
10:40-11:00 C3-04	アズビルグループの環境施策におけるマテリアリティ抽出に向けた組織の LCA の活用 304 ◎秦野弘（アズビル）、永山綾子（アズビル）、木村重夫（アズビル）

◆ D 会場 <製品 LCA(2)>

座長：井原智彦（東京大学）

9:40-10:00 D3-01 (P2-037)	HDD と SSD を対象とした環境影響評価 306 ◎山崎有平（東京都市大学）、伊坪徳宏（東京都市大学）
10:00-10:20 D3-02	パナソニックにおける製品・サービスによる CO ₂ 削減貢献量算定・開示の取組み 308 ◎佐々木秀樹（パナソニック）、東山信幸（パナソニック）
10:20-10:40 D3-03 (P2-019)	カイコによる検査薬を対象とした環境影響評価 310 ◎立原航揮（東京都市大学）、伊坪徳宏（東京都市大学）、鈴木健夫（シスメックス株式会社）、一口毅（シスメックス株式会社）、宇佐美昭宏（シスメックス株式会社）

10:40-11:00 D3-04	未来技術の環境影響評価手法の開発：革新的な炭素繊維の製造手法のケース ◎河尻耕太郎（産業技術総合研究所）	312
----------------------	---	-----

◆ E 会場 <ストック・フロー (1)>

座長：小口正弘（国立環境研究所）

10:00-10:20 E3-02	耐久財の製品寿命分析に関する研究動向 ◎西嶋大輔（九州大学，国立環境研究所），加河茂美（九州大学），小口正弘（国立環境研究所）	314
10:20-10:40 E3-03 (P2-060)	部品の段階まで考慮したプラスチックのマテリアルフローの分析と寿命関数の推定 ◎丸山多聞（東京大学），中谷隼（東京大学），森口祐一（東京大学）	316
10:40-11:00 E3-04 (P2-083)	水銀排出による世界各国の健康影響評価 ◎佐藤祐也（東京都市大学），小野雄也（東京大学），伊坪徳宏（東京都市大学）	318

11:20～12:40

◆ A 会場 <バイオマス (2)>

座長：稗貫峻一（横浜国立大学）

11:20-11:40 A3-06 (P2-050)	植物への CO ₂ 施用を考慮した PSA の LCA 評価 ◎永石平（東京理科大学），井手啓介（東京理科大学），亀山光男（ジャパンプルーエナジー），堂脇清志（東京理科大学）	320
11:40-12:00 A3-07	福井県あわら・坂井地域における木質バイオマス熱供給事業の温室効果ガス削減効果 ◎柴原尚希（産業環境管理協会），高城玲奈（アルファフォーラム），大城謙治（マルツ電波），酒井洋美（坂井森林組合），小林靖尚（アルファフォーラム），西川浩一（坂井森林組合），壁谷武久（産業環境管理協会）	322
12:00-12:20 A3-08	バイオガス発電事業の温室効果ガス削減効果の事前評価に向けた簡易ツールの作成 ◎兵法彩（横浜国立大学，東京大学），本藤祐樹（横浜国立大学），森泉由恵（横浜国立大学）	324
12:20-12:40 A3-09	総合討論	

◆ B 会場 <生物多様性>

座長：林清忠（農業・食品産業技術総合研究機構）

11:20-11:40 B3-06 (P2-020)	土地利用の変化と生物多様性の減少：森林植生による生物多様性の違いを考慮した影響評価 ◎植屋純平（立命館大学），橋本征二（立命館大学）	326
11:40-12:00 B3-07	空間的環境フットプリント分析 ◎金本圭一朗（信州大学），MoranDaniel（Norwegian University of Science and Technology）	328
12:00-12:20 B3-08	生態系サービスの LCA への導入可能性：農業生産システムの総合的評価枠組みの構築を意図した批判的再検討 ◎湯龍龍（国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構），神山和則（国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構），林清忠（国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構）	330
12:20-12:40 B3-09	企業意思決定のための自然資本プロトコルとライフサイクルアセスメントの活用 ◎山岸健（産業環境管理協会）	332

◆ C 会場 <特別セッション：組織の LCA と削減貢献量評価 (2) 製品・サービスの貢献>

座長：稲葉敦（工学院大学）

11:20-11:40 C3-06	用紙数量を活動量とする印刷物及び印刷会社の LCA 手法の開発 ◎中村洋之（大日本印刷株式会社）	334
11:40-12:00 C3-07	持続可能な森林から作られる認証紙と非認証紙の違いによる社会的なインパクト評価 ◎佐々木弘道（サンメッセ株式会社）	336

12:00-12:20 C3-08	ビジネスにおける LCA 情報の意思決定への適用 338 組織の LCA とウォーターフットプリントを応用したビジネスリスク評価 ◎大橋憲司 (株式会社資生堂)
12:20-12:40 C3-09	総合討論

◆ D 会場 <廃棄物 (3)>

座長：福島康裕 (東北大学)

11:20-11:40 D3-06	廃棄物マネジメントと統合した都市共生システムの低炭素評価及び費用便益分析 340 ◎孫露 (Department of Environment Systems, Graduate School of Frontier Sciences, The University of Tokyo, National Institute for Environmental Studies (NIES)), 田崎智宏 (Department of Environment Systems, Graduate School of Frontier Sciences, The University of Tokyo, National Institute for Environmental Studies (NIES)), 藤井実 (National Institute for Environmental Studies (NIES)), 大西悟 (Tokyo University of Science)
11:40-12:00 D3-07 (P2-092)	東南アジアにおける家電製品の素材リサイクルによる TMR 削減ポテンシャル評価 342 ◎山末英嗣 (立命館大学), 安永玲華 (京都大学), JordiCravioto (立命館大学)
12:00-12:20 D3-08	紙おむつのクローズドリサイクルの LCA と業界内カーボンオフセット方法論の考察 344 ◎田口直 (北九州市立大学), 本田雄暉 (北九州市立大学), 松本亨 (北九州市立大学), 長武志 (トータルケア・システム株式会社)
12:20-12:40 D3-09	総合討論

◆ E 会場 <ストック・フロー (2)>

座長：森口祐一 (東京大学)

11:20-11:40 E3-06	人為的炭素滞留・循環構造の体系的検討 346 ◎大野肇 (東北大学), 佐藤博一 (東北大学), 福島康裕 (東北大学)
11:40-12:00 E3-07 (P2-065)	主要国における二次亜鉛資源の類型 348 ◎MaungKyaw Nyunt (Ritsumeikan University), LwinCherry Myo (Ritsumeikan University), 橋本征二 (Ritsumeikan University)
12:00-12:20 E3-08 (P2-111)	提供サービスに基づいた物質ストック変遷の分析 350 ◎河村洋佑 (東京大学大学院), 醍醐市朗 (東京大学大学院), 後藤芳一 (東京大学大学院)
12:20-12:40 E3-09	総合討論

ポスターセッション プログラム

2日目 (3月2日(木)) 15:40-17:40 (コアタイムA: 15:40-16:40、コアタイムB: 16:40-17:40)

P 会場

A	P2-001 (C2-14)	植物資源利活用に向けた農工横断型プロセスモデリング 252 ◎大内田弘太郎 (東京大学), 富永華子 (東京大学), 牟田樹樹 (東京大学), 兼松祐一郎 (東京大学), 大久保達也 (東京大学), 菊池康紀 (東京大学)
B	P2-002 (B2-06)	導入シナリオ分析のための植物工場モデリング 202 ◎富永華子 (東京大学), 兼松祐一郎 (東京大学), 大久保達也 (東京大学), 菊池康紀 (東京大学)
A	P2-003 (B2-09)	機能の分析による食品容器包装のライフサイクル設計 208 ◎横川直毅 (東京大学), 杉山弘和 (東京大学), 平尾雅彦 (東京大学)
B	P2-004 (E1-25)	農産物の新たな複合的環境指標の提案 150 ◎渡辺泰子 (東京理科大学), 堂脇清志 (東京理科大学)
A	P2-005 (E1-23)	リンの施肥による増収効果に着目したリン資源の環境効率評価 146 ◎野木茜 (立命館大学大学院), 村上進亮 (東京大学), 粟生木千佳 (立命館大学大学院, 地球環境戦略研究機関), 橋本征二 (立命館大学)
B	P2-006 (E1-24)	低炭素農法を目的としたカーボンフリー CO ₂ を用いた野菜の生産性向上及び LCA 解析 148 ◎井手啓介 (東京理科大学), 堂脇清志 (東京理科大学), 北畑信隆 (東京理科大学)
A	P2-007	農業系バイオマスの物質フローと循環利用率 354 ◎谷畑佑典 (立命館大学)
B	P2-008	タイにおける食品残渣を原料としたバイオガスプラントのライフサイクルコスト分析 356 ◎小井土賢二 (福島大学), 竹内一佐枝 (名古屋大学), 長谷川達也 (名古屋大学)
A	P2-009	温州ミカン栽培の環境影響評価 358 慣行法と周年マルチ点滴灌水同時施肥法の比較 ◎志村もと子 (農研機構西日本農業研究センター), 高橋英博 (農研機構西日本農業研究センター), 渡邊修一 (農研機構西日本農業研究センター), 松森堅治 (農研機構西日本農業研究センター), 笠原賢明 (農研機構西日本農業研究センター), 清水裕太 (農研機構西日本農業研究センター)
B	P2-010 (C1-07)	外食産業を対象にした食品ロスと廃棄物の環境影響評価 56 ◎小川俊治 (東京都市大学), 伊坪徳宏 (東京都市大学)
A	P2-011 (B2-07)	適切化技術によるトマトの食品損失削減シナリオに関する環境インパクト評価 204 ◎吉沢慎 (東京理科大学)
B	P2-012	環境保全型農業による水稻栽培のインパクト評価 360 ◎青芳樹 (茨城大学), 内田晋 (茨城大学)
A	P2-013	寿司チェーン店におけるサプライチェーンを通じた環境配慮 362 ◎有見亜佐土 (横浜国立大学), 種田あずさ (横浜国立大学), 松田裕之 (横浜国立大学)
B	P2-014	宇都宮市内の小・中学校を対象とした食育の取り組みの実態調査 364 ◎菱沼竜男 (宇都宮大学), 大森玲子 (宇都宮大学)
A	P2-015	フードロス削減有効策におけるフードバンクの有用性の検証 366 ◎塚原直樹 (東京都市大学), 伊坪徳宏 (東京都市大学)
B	P2-016 (B2-08)	新冷媒を用いた野菜のコールドチェーンにおける品質維持方法の提案 206 ◎大野彰之 (東京理科大学), 堂脇清志 (東京理科大学)
A	P2-017	途上国における食生活変化に伴う温室効果ガス・フットプリント変化量の定量評価ーパラオ共和国を対象としてー 368 ◎清水喬文 (名古屋大学), 中村晋一郎 (名古屋大学), 飯田晶子 (東京大学), 中谷隼 (東京大学), 小野雄也 (東京大学), 加藤博和 (名古屋大学)
B	P2-018	有機薄膜太陽電池による日本のトマト施設栽培からの LC-CO ₂ 排出量の削減 370 ◎レオン愛 (京都大学), FarzanehHooman (京都大学), 山末英嗣 (立命館大学), 石原慶一 (京都大学)
A	P2-019 (D3-03)	カイコによる検査薬を対象とした環境影響評価 310 ◎立原航揮 (東京都市大学), 伊坪徳宏 (東京都市大学), 鈴木健夫 (シスメックス株式会社), 一口毅 (シスメックス株式会社), 宇佐美昭宏 (シスメックス株式会社)

B	P2-020 (B3-06)	土地利用の変化と生物多様性の減少：森林植生による生物多様性の違いを考慮した影響評価 …… ◎植屋純平（立命館大学）、橋本征二（立命館大学）	326
A	P2-021 (C1-25)	PRTR 対象物質に着目したケミカルフットプリントデータベースの開発 …… ◎小藤直（東京都市大学）、伊坪徳宏（東京都市大学）	134
B	P2-022 (D2-07)	アパレル産業における消費者嗜好を考慮した環境影響評価 …… ◎酒匂郁輔（東京理科大学）	218
A	P2-023	家庭洗濯における超濃縮液体洗剤の環境負荷低減効果の評価 …… ◎山口庸子（共立女子短期大学）、中村弥生（共立女子短期大学）	372
B	P2-024 (D1-03)	UV 印刷を対象とした環境影響評価 …… ◎川島雄介（東京都市大学）、内田弘美（東洋インキ SC ホールディングス）、富川恵子（東洋インキ SC ホールディングス）、伊坪徳宏（東京都市大学）	30
A	P2-025	印刷物のカーボンフットプリント …… ◎牛久深雪（工学院大学）、稲葉敦（工学院大学）	374
B	P2-026	旅行商品のタイプ I ラベル認証基準の作成 …… ◎末吉普（工学院大学）、稲葉敦（工学院大学）	376
A	P2-027 (D2-08)	レガシーと持続可能性を考慮したイベント評価手法の開発と活用 …… ◎池田雄貴（東京都市大学）、越川延明（セレスポ）、伊坪徳宏（東京都市大学）	220
B	P2-028	イベントにおける CO ₂ 排出量の算定方法の検討 …… ◎阿部由夏子（工学院大学）、稲葉敦（工学院大学）	378
A	P2-029	国際基準による内子町のグリーンツーリズムの評価 …… ◎西口光（芝浦工業大学）、中口毅博（芝浦工業大学）	380
B	P2-030 (C1-01)	消費者の環境配慮製品選択を促す情報表示の設計 …… ◎石川奈那（東京大学）、文多美（東京大学）、平尾雅彦（東京大学）	18
A	P2-031	消費と水銀排出量との関係 …… ◎市川拓也（立命館大学）	382
B	P2-032 (D2-04)	消費者の生活価値観と環境配慮行動の関係 …… ◎木村大（千葉工業大学）、柴田清（千葉工業大学）	184
A	P2-033 (D2-01)	産業連関表と家計支出統計の接続表を用いたカーボンフットプリントの GHG 排出削減効果の推計 …… ◎環野真紀（東京大学）、浅野康仁（京都大学）、井原智彦（東京大学）	178
B	P2-034 (A2-07)	ライフサイクル思考と環境配慮行動の関係性を探る …… ライフサイクル思考の測定尺度の開発 ◎森健太郎（横浜国立大学）、本藤祐樹（横浜国立大学）	196
A	P2-035 (A2-06)	ライフサイクル思考の学びが環境配慮行動の意思決定過程に与える影響 -2- …… ◎田高初奈（横浜国立大学）、平山世志衣（特定非営利活動法人横浜 LCA 環境教育研究会）、高岡由紀子（グリーン購入ネットワーク）、津田祥子（日本 LCA 学会）、水野建樹（特定非営利活動法人横浜 LCA 環境教育研究会）、松本安生（神奈川大学）、松本真哉（横浜国立大学）	194
B	P2-036 (A2-17)	ライフサイクル思考に基づく環境教育実施による体系的な思考力に対する影響 …… ◎森正敬之（東京都市大学）、北村祐介（elsa）、伊坪徳宏（東京都市大学）	238
A	P2-037 (D3-01)	HDD と SSD を対象とした環境影響評価 …… ◎山崎有平（東京都市大学）、伊坪徳宏（東京都市大学）	306
B	P2-038	クラウドシステムの CO ₂ 削減効果の研究 …… ◎近藤優貴（工学院大学）、稲葉敦（工学院大学）、並河治（日立製作所）、前川均（日立製作所）、諸星勝（日立製作所）	384
A	P2-039	ICT の社会的価値の評価方法の開発 …… ◎武田明日花（工学院大学）、稲葉敦（工学院大学）、並河治（日立製作所）、前川均（日立製作所）	386
B	P2-040 (D1-02)	電子書籍端末による読書習慣と満足度の変化を考慮した、読書における環境影響評価 …… ◎天沢逸里（東京大学）、井原智彦（東京大学）、花本啓祐（東京大学）	28
A	P2-041 (D1-01)	森林保全を考慮したピアノの環境影響評価 …… ◎渡邊杜人（東京都市大学）、伊坪徳宏（東京都市大学）	26
B	P2-042 (E2-03)	パルプ紙とストーンペーパーの環境影響評価 …… ◎阪西達矢（工学院大学）、本下晶晴（国立研究開発法人産業技術総合研究所）、田原聖隆（国立研究開発法人産業技術総合研究所）、稲葉敦（工学院大学）	190

A	P2-043 (A2-01)	労働に注目したソーシャル LCA 用データベース開発 ◎唐戸将大 (東京都市大学), 伊坪徳宏 (東京都市大学)	154
B	P2-044 (A2-02)	SLCA を用いた綿製衣料品の製造過程における労働問題のホットスポット分析 ◎土屋潔浩 (東京大学), 井原智彦 (東京大学)	156
A	P2-045 (D2-14)	室内空気質汚染と一般大気汚染を対象としたライフサイクル健康影響評価手法の開発 ◎枝廣あかり (東京都市大学), 湯龍龍 (農業環境技術研究所), 伊坪徳宏 (東京都市大学)	262
B	P2-046 (D2-17)	日常生活における低線量被曝を対象とした健康影響評価 ◎寺本麻実 (東京都市大学), 伊坪徳宏 (東京都市大学)	268
A	P2-047 (D2-16)	ジャカルタにおける睡眠困難の実態把握とエアコン導入効果の定量化 草間蓮 (東京大学), ◎井原智彦 (東京大学)	266
B	P2-048 (D2-15)	地域性を考慮した飛行機騒音の健康影響評価 ◎山本遼 (東京都市大学), 伊坪徳宏 (東京都市大学)	264
A	P2-049 (A3-01)	低圧バイオメタノール合成システムのインパクト評価 ◎石山智之 (東京理科大学), 布浦鉄兵 (東京大学), 堂脇清志 (東京理科大学)	282
B	P2-050 (A3-06)	植物への CO ₂ 施用を考慮した PSA の LCA 評価 ◎永石平 (東京理科大学), 井手啓介 (東京理科大学), 亀山光男 (ジャパンプルーエナジー), 堂脇清志 (東京理科大学)	320
A	P2-051	三重県南伊勢町のバイオマス利活用について ◎甲斐穂高 (鈴鹿工業高等専門学校), 中道隆広 (長崎総合科学大学), 石橋康弘 (熊本県立大学)	388
B	P2-052	水素利用システムの CO ₂ 排出削減量の検討 ◎樋口尚輝 (工学院大学), 稲葉敦 (工学院大学)	390
A	P2-053 (B1-03)	地域単位での地中熱ヒートポンプのライフサイクル CO ₂ 削減効果 ◎早乙女裕紀 (横浜国立大学), 本藤祐樹 (横浜国立大学), 森泉由恵 (横浜国立大学)	14
B	P2-054 (B1-08)	LCA 分析を考慮した家庭用 SOFC-CGS における環境的統合化指標の提案 ◎佐藤聖史 (東京理科大学)	52
A	P2-055 (B1-07)	2 段 PSA と酸化金属を用いた複数段でのバイオ水素の低温脱硫システムの環境評価 ◎黒田祥平 (東京理科大学), 堂脇清志 (東京理科大学)	50
B	P2-056	色素増感太陽電池の導入ポテンシャルおよび環境・経済性評価 ◎関谷知治 (立命館大学), 吉川直樹 (立命館大学), 天野耕二 (立命館大学)	392
A	P2-057	産業連関表を用いた技術導入の社会経済性分析 一種子島を例に— ◎兵法彩 (東京大学), 尾下優子 (神戸大学), 大野肇 (東北大学), 中井美和 (東京大学), 福島康裕 (東北大学), 菊池康紀 (東京大学)	394
B	P2-058 (C1-17)	藻類バイオマスを用いた航空機の環境影響評価 ◎根本知亜記 (東京都市大学), 伊坪徳宏 (東京都市大学)	88
A	P2-059 (A3-02)	バイオガソリン製造用触媒の設計への LCA の適用 ◎奥山泰世 (昭和シェル石油), 小池充 (昭和シェル石油), 田村正純 (東北大学大学院), 中川善直 (東北大学大学院), 今井章雄 (昭和シェル石油), 富重圭一 (東北大学大学院), 福島康裕 (東北大学大学院)	284
B	P2-060 (E3-03)	部品の段階まで考慮したプラスチックのマテリアルフローの分析と寿命関数の推定 ◎丸山多聞 (東京大学), 中谷隼 (東京大学), 森口祐一 (東京大学)	316
A	P2-061	触媒開発・設計に向けたライフサイクルアセスメント ◎川音侑輝 (東北大学), 福島康裕 (東北大学), 大野肇 (東北大学)	396
B	P2-062 (C1-24)	産業連関分析を用いた日本におけるマテリアルフットプリントの評価基盤の構築と活用 ◎永野健太 (東京都市大学), 伊坪徳宏 (東京都市大学)	132
A	P2-063	産業連関マテリアルフロー解析を用いた製品由来炭素固定量の時系列定量分析 ◎佐藤博一 (東北大学), 大野肇 (東北大学), 福島康裕 (東北大学)	398
B	P2-064 (A1-25)	関与物質総量を用いた日本の鋼材生産に関わる採掘活動量の定量化 ◎小柳津頭 (立命館大学), CraviotoJordi (立命館大学), 中島謙一 (国立環境研究所), 松八重一代 (東北大学), 村上進亮 (東京大学), 山末英嗣 (立命館大学)	118
A	P2-065 (E3-07)	主要国における二次亜鉛資源の類型 ◎MaungKyaw Nyunt (Ritsumeikan University), LwinCherry Myo (Ritsumeikan University), 橋本征二 (Ritsumeikan University)	348

B	P2-066 (A1-03)	インジウムの需給バランスから見た太陽光パネルリサイクルの意義 6 ◎高柳達（立命館大学）、中島謙一（国立環境研究所）、村上進亮（東京大学）、橋本征二（立命館大学）
A	P2-067 (A1-17)	包括的なリスク要因抽出に基づいた銅のサプライチェーンリスク解析 68 ◎山崎裕貴（東北大学）、松八重一代（東北大学）、中島謙一（国立環境研究所）、村上進亮（東京大学）、長坂徹也（東北大学）
B	P2-068	非金属鉱物を対象とした日本の環境効率の評価 400 ◎田中久大（立命館大学）、DENTESébastien M. R.（立命館大学）、栗生木千佳（立命館大学大学院、地球環境戦略研究機関）、橋本征二（立命館大学）
A	P2-069	日本における白金族金属類二次埋蔵量評価 402 ◎福谷大樹（立命館大学）、橋本征二（立命館大学）
B	P2-070	低炭素発電技術に使用される金属のクリティカリティ評価 404 ◎宮本渉（立命館大学）、橋本征二（立命館大学）
A	P2-071 (A1-24)	動的 MFA を用いた鉄鋼循環に伴う Ni および Cr の散逸削減可能性の推算 116 ◎武山健太郎（東北大学）、大野肇（東北大学）、松八重一代（東北大学）、中島謙一（国立環境研究所）、近藤康之（早稲田大学）、長坂徹也（東北大学）
B	P2-072 (A1-22)	日本における鉄鋼材中の不純物元素濃度の決定要因の解明 112 ◎太田暁（東京大学大学院）、醍醐市朗（東京大学大学院）、後藤芳一（東京大学大学院）
A	P2-073 (A1-23)	日本とオランダにおける鉄スクラップへの不純物元素混入源の比較 114 ◎額綱将太（東京大学）、醍醐市朗（東京大学大学院）、後藤芳一（東京大学大学院）
B	P2-074 (A1-16)	責任あるニッケル資源利用に向けたサプライチェーンリスク要因解析 66 ◎佐々木翔（東北大学）、松八重一代（東北大学）、中島謙一（国立環境研究所）、村上進亮（東京大学）、長坂徹也（東北大学）
A	P2-075	社会における物質の滞留時間を考慮した蓄積物質使用効率指標の提案 406 ◎八柳有紗（立命館大学）、谷川寛樹（名古屋大学）、橋本征二（名古屋大学）
B	P2-076 (A1-04)	半導体産業に着目した窒素のマテリアルフロー分析 8 ◎片桐究（東北大学）、松八重一代（東北大学）、竹田修（東北大学）、朱鴻民（東北大学）、長坂徹也（東北大学）
A	P2-077 (B2-02)	金属材料の耐腐食性機能の定量評価手法の構築 164 ◎吾妻優美（東京大学）、醍醐市朗（東京大学）、後藤芳一（東京大学）
B	P2-078	発表キャンセル
A	P2-079 (A2-03)	OECD 加盟国内における都市品質と住民の生活満足度の関係 158 ◎藤田省一郎（慶應義塾大学）、伊香賀俊治（慶應義塾大学）、村上周三（建築環境・省エネルギー機構）、川久保俊（法政大学）、山崎潤也（慶應義塾大学）、鈴木健太郎（慶應義塾大学）
B	P2-080	地区別の人口動向を考慮した新築および既存住宅数と自治体による二酸化炭素排出量割合の違いの将来推計 408 ◎堀星至（東京大学大学院）、石河正寛（国立環境研究所）、松橋啓介（国立環境研究所）、田崎智宏（国立環境研究所）
A	P2-081 (B3-01)	2050 年に向けた日本の産業のシナリオ検討 290 ◎玄地裕（産業技術総合研究所）、稲葉敦（工学院大学）
B	P2-082 (A2-04)	持続可能な開発目標の理念に基づく新興国を対象とした都市品質格差の時系列評価 160 ◎邊見隼人（慶應義塾大学）、伊香賀俊治（慶應義塾大学）、村上周三（建築環境・省エネルギー機構）、川久保俊（法政大学）、山崎潤也（慶應義塾大学）、藤田省一郎（慶應義塾大学）
A	P2-083 (E3-04)	水銀排出による世界各国の健康影響評価 318 ◎佐藤祐也（東京都市大学）、小野雄也（東京大学）、伊坪徳宏（東京都市大学）
B	P2-084	超高齢社会の進展が自治体のごみ処理システムにおよぼす環境的影響の評価 410 神戸市でのケーススタディ ◎小田実紀（神戸大学）、蔡佩宜（神戸大学）、田畑智博（神戸大学）、片桐恵子（神戸大学）
A	P2-085 (E1-04)	高断熱住宅の普及に影響する地域特性を考慮した自治体の評価手法の提案 40 ◎石戸拓朗（慶應義塾大学）、伊香賀俊治（慶應義塾大学）、川久保俊（法政大学）、鈴木健太郎（慶應義塾大学）、山崎潤也（慶應義塾大学）、大東開智（慶應義塾大学）

B	P2-086	低炭素型家庭ごみ処理システムの研究 412 ◎出口明日香 (工学院大学), 稲葉敦 (工学院大学), 田中浩二 (e.s.feed 株式会社)
A	P2-087	都市規模やインフラ条件に応じて適用可能なエネルギー回収型廃棄物処理システムの評価フレームの構築 ◎田代颯馬 (和歌山大学), 松田雄太郎 (和歌山大学), 中尾彰文 (和歌山大学), 山本祐吾 (和歌山大学), 吉田登 (和歌山大学), 鶴巻峰夫 (和歌山工業高等専門学校) 414
B	P2-088 (E2-08)	マイクログリッドによる CO ₂ 削減効果から見た街区構成と生活スケジュールの評価 226 ◎佐藤惇 (東京大学大学院), 栗栖聖 (東京大学大学院), 花木啓祐 (東京大学大学院)
A	P2-089	Scenarios of phosphorus flow from agriculture and domestic wastewater in Myanmar 416 ◎LwinCherry Myo (Ritsumeikan University), 村上真理 (Ritsumeikan University), MaungKyaw Nyunt (Ritsumeikan University), 橋本征二 (Ritsumeikan University)
B	P2-090	南海トラフ巨大地震における災害廃棄物仮置場の検討 418 ◎水谷一平 (立命館大学), 立尾浩一 (日本環境衛生センター), 橋本征二 (立命館大学)
A	P2-091 (D1-18)	人口減少社会における一般廃棄物処理施設のマネジメント 98 ◎渡辺梓 (立命館大学), 橋本征二 (立命館大学)
B	P2-092 (D3-07)	東南アジアにおける家電製品の素材リサイクルによる TMR 削減ポテンシャル評価 342 ◎山末英嗣 (立命館大学), 安永玲華 (京都大学), JordiCravioto (立命館大学)
A	P2-093 (D1-24)	災害廃棄物処理システムの環境的、経済的評価方法の開発 140 ◎若林陽平 (神戸大学)
B	P2-094 (D1-19)	中国広東省における建築廃棄物の持続可能な管理に着目した廃棄物産業連関表の構築 100 ◎董岩 (東北大学), 松八重一代 (東北大学)
A	P2-095 (D1-16)	Development of municipal solid waste collection system in Jalalabad city, Afghanistan 94 ◎BawarMohammad Jamal (立命館大学), 橋本征二 (立命館大学)
B	P2-096 (E1-20)	全日本学生フォーミュラ大会参加車両の環境影響評価 110 ◎越田悠揮 (東京都市大学), 伊坪徳宏 (東京都市大学)
A	P2-097 (E1-18)	電気自動車用リチウムイオン電池のリユース及びリサイクルにおける技術選択支援 106 ◎阿部将宜 (東京大学), 杉山弘和 (東京大学), 平尾雅彦 (東京大学)
B	P2-098 (A1-06)	資源消費と大気汚染を考慮した鉄道車両の環境フットプリント 42 ◎岩倉湧也 (東京都市大学), 伊坪徳宏 (東京都市大学)
A	P2-099 (E1-17)	自動車の技術変化と素材に着目した資源需要分析 104 ◎松井健裕 (東北大学), 松八重一代 (東北大学), 山末英嗣 (立命館大学), 長坂徹也 (東北大学)
B	P2-100	トラックの車両重量別の LCA 研究 420 大井康寛 (関東学院大学), 富岡佳祐 (関東学院大学), ◎佐野慶一郎 (関東学院大学), 八木田浩史 (日 本工業大学), 小杉信明 (いすゞ自動車)
A	P2-101 (E2-15)	国際貿易を考慮した食料消費に関わる淡水資源需給バランスの将来シナリオ評価 274 ◎山口陽平 (立命館大学), 田村賢人 (立命館大学), 吉川直樹 (立命館大学), 橋本征二 (立命館大学), 天野耕二 (立命館大学)
B	P2-102 (D2-03)	家計消費とプラネタリー・バウンダリー：淡水利用について 182 ◎佐々木貴央 (立命館大学), 本下晶晴 (産業技術総合研究所), 南斉規介 (国立環境研究所), 橋本征二 (立 命館大学)
A	P2-103 (B1-22)	気候変動の適応策を思考した節水トイレの環境影響評価 120 ◎岡崎真優子 (東京都市大学), 佐々木秀樹 (パナソニック株式会社), 伊坪徳宏 (東京都市大学)
B	P2-104 (B1-23)	逆浸透法を用いた海水淡水化施設の環境影響評価 122 ◎黒川賢治 (東京都市大学), 伊坪徳宏 (東京都市大学), 小関康雄 (東京都市大学), 大熊那夫紀 (一般 財団法人造水促進センター), 杉本和明 (一般財団法人造水促進センター)
A	P2-105 (C2-08)	環境・社会側面を対象とした日本版ホットスポット分析手法の開発と活用 214 ◎一杉佑貴 (東京都市大学), 村主さとみ (東京都市大学), 鈴木春生 (東京都市大学), 藤井千陽 (国立 研究開発法人 産業技術総合研究所), 田原聖隆 (国立研究開発法人 産業技術総合研究所), 近藤康之 (早 稲田大学), 伊坪徳宏 (東京都市大学)
B	P2-106	地方自治体の森林管理方法の評価 422 ◎鶴田将貴 (工学院大学), 稲葉敦 (工学院大学)

A	P2-107 (A1-18)	生産資源の安定的供給に向けたクリティカリティ評価手法の構築 70 ◎中駄将人（東京大学）、醍醐市朗（東京大学）、後藤芳一（東京大学）、畑山博樹（国立研究開発法人 産業技術総合研究所）
B	P2-108	海外インベントリデータの簡易推計手法の構築 424 IDEA への反映 ◎小林謙介（県立広島大学）、中野裕貴（県立広島大学）、中井健士郎（県立広島大学）、藤井千陽（産業技術総合研究所）、横田真輝（産業技術総合研究所）、田原聖隆（産業技術総合研究所）
A	P2-109 (E2-02)	樹種別を考慮した木材のインベントリデータベースの開発 188 ◎土屋成（東京都市大学）、伊坪徳宏（東京都市大学）
B	P2-110	広島県内市町村における森林資源の利用状況と将来資源量の検討 426 県北部自治体におけるケーススタディー ◎若林國久（県立広島大学）、坂神慎一（県立広島大学）、山本綾香（県立広島大学）、小林謙介（県立広島大学）
A	P2-111 (E3-08)	提供サービスに基づいた物質ストック変遷の分析 350 ◎河村洋佑（東京大学大学院）、醍醐市朗（東京大学大学院）、後藤芳一（東京大学大学院）
B	P2-112	将来の木材需要を考慮した森林資源量の試算 428 ◎山本綾香（県立広島大学）、坂神慎一（県立広島大学）、若林國久（県立広島大学）、小林謙介（県立広島大学）
A	P2-113	インベントリ分析における評価精度向上に関する検討 430 IDEA Ver.2 を用いた住宅における多様な環境負荷物質の誤差分析試算 ◎恒川智美（県立広島大学）、小林謙介（県立広島大学）、田原聖隆（産業技術総合研究所）
B	P2-114	近年の木材パルプ平均使用回数の推計 432 ◎肖瀚（立命館大学）、橋本征二（立命館大学）
A	P2-115	京都産材を用いた木製治山ダムによる環境保全・地域活性化の効果検証 434 ◎長井翔太郎（立命館大学）、橋本征二（立命館大学）
B	P2-116 (C3-01)	産業連関分析を活用した組織の環境フットプリント評価手法の開発 298 ◎村主さとみ（東京都市大学）、一杉佑貴（東京都市大学）、田原聖隆（国立研究開発法人 産業技術総合研究所）、近藤康之（早稲田大学）、伊坪徳宏（東京都市大学）
A	P2-117	工学院大学生協の Scope3 436 ◎松本奈々（工学院大学）、高野須悠人（工学院大学、e.s.feed 株式会社）、稲葉敦（工学院大学）、田中浩二（e.s.feed 株式会社）
B	P2-118	Scope3 から組織の LCA への展開ツールの開発 438 ◎山田要（工学院大学）、稲葉敦（工学院大学）、本下晶晴（国立研究開発法人 産業技術総合研究所）、田原聖隆（国立研究開発法人 産業技術総合研究所）
A	P2-119	工学院大学の SCOPE3 440 ◎高野須悠人（工学院大学）、松本奈々（工学院大学）、田中浩二（e.s.feed 株式会社）、稲葉敦（工学院大学）
AB	P2-SCN	日本 LCA 学会学生交流ネットワーク 2016 年度活動報告 442 ◎江口昌伍（九州大学）、横井峻佑（東京大学）、田高初奈（横浜国立大学）、伊藤亮太（横浜国立大学）、一杉佑貴（東京都市大学）、高柳達（立命館大学）

新バージョンのご案内

最新の国内LCAデータを豊富に搭載した
高機能なLCAソフト

MiLCA（みるか） がバージョンアップします （2017年3月リリース予定）



- ✓ MiLCAは、ライフサイクルアセスメント（LCA）実施を支援するソフトです。産業技術総合研究所とJEMAIが共同開発した新LCAデータベース（IDEAv2）と日本版被害算定型影響評価手法（LIME2）などを搭載することで、国内の実態に即したLCAをより簡便に実施できます。

MiLCA v2 の改良点

- ✓ インストール・操作の安定性向上！
- ✓ 算定スピードの向上！
- ✓ 将来の特性化係数拡充などへの対応体制が充実！
- ✓ 国内最大規模のLCAデータベース、IDEA v2を初期搭載！



ソフトウェア名	MiLCAv1	MiLCAv2
搭載LCAデータベース	IDEAv1	IDEAv2（2016年リリース）
搭載影響評価手法	LIME2、T-E2A、TMR、海外主要特性化モデルを搭載。	

MiLCAの特徴

- マウスによる直感的な操作で製品システムをモデル化し、ケーススタディの実施が可能
- 環境影響評価手法として1,000を超える環境負荷物質を対象としたLIME2を搭載し、様々な視点からの評価が可能
- これらの手法にて算定した結果を棒グラフや円グラフ等で分かりやすく表示

MiLCA v2（IDEA v2 搭載） 価格（標準ライセンス）：60万円（税別）

- MiLCAv2の価格は初期費用のみになります。（更新利用料はありません）
- 現行版（MiLCAv1）のユーザーを含め、MiLCA v2は新規購入が必要です。

◆ MiLCA v2の詳細情報
www.milca-milca.net

IDEA v2 : LCAデータベース 価格（標準ライセンス）：26万円（税別）

- IDEAデータベース部分のみの先行販売を開始しました。
- IDEA v2ライセンスをご購入済の方は、MiLCAv2購入時に当該料金を割引します。

◆ IDEA v2の詳細情報
<http://www.jemai.or.jp/lca/idea/>

（現行）MiLCA v1

- MiLCA v1の取扱いは下記の予定になります。

2017年3月末：新規販売終了
2019年3月末：使用終了

◆お問合せ先

一般社団法人産業環境管理協会 LCA事業室

E-mail : jemai-lca@jemai.or.jp

TEL : 03-5209-7708

HP : <http://www.jemai.or.jp/>

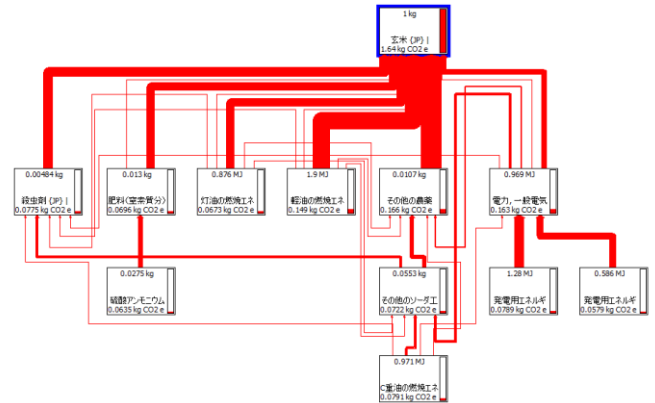


IDEA v2

Excel 版、SimaPro 版 好評販売中

高い網羅性と解像度

IDEA V2 は日本国内のほぼ全ての事業の経済活動を網羅的にカバーし、日本標準商品分類を元にした 3800 以上のプロセスからなる、高い解像度を誇ります。つまり、IDEA をバックグラウンドデータベースとして用いた場合、特定の二次データを探索して、該当する製品がなにかしら存在する（国内の一部サービスや、国内で生産されない製品は除く）ことになります。



SimaPro でのネットワーク表示例

幅広い影響領域

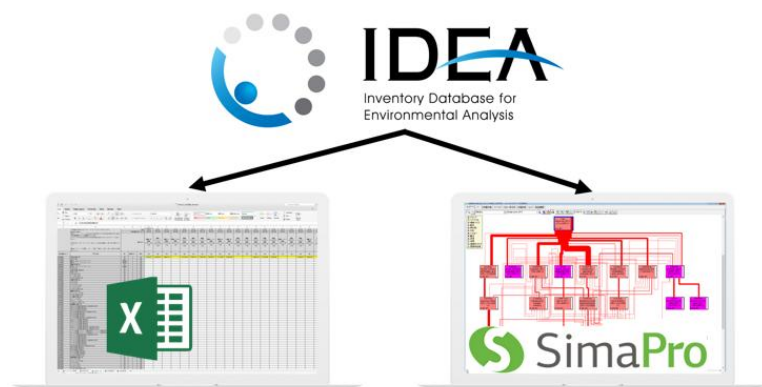
従来から IDEA が対象としていた環境影響領域の地球温暖化、酸性化、鉱物・化石資源消費等に加え、バージョン 2 からは、水資源、土地利用等に関する基本フローが加わり、LCA で対象とする主要影響領域を広くカバーしています。

No.	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
1		このIDEAの範囲は以下のユーザーにライセンスされています。				単位						
2		このデータベースは、日本国内の事業者及びその活動に由来する環境負荷の算定のために開発されています。このデータベースは、事業者及び活動の環境負荷の算定にのみ使用されるべきです。このデータベースの範囲は、主に日本の国内市場を対象としています。このデータベースの範囲は、主に日本の国内市場を対象としています。				単位						
3						単位						
4	01110000	玄米、40kg	kg	1	kg	1.94E+00	9.99E+00	4.16E+04	2.61E+04	4.80E+06	1.11E+06	1.96E+00
5	01111000	玄米、1kg	kg	1	kg	1.94E+00	9.99E+00	4.16E+04	2.61E+04	4.80E+06	1.11E+06	1.96E+00
6	01111840	稲わら、40kg リサイクルフロー	kg	1	kg	0.000E+00	0.000E+00	0.000E+00	0.000E+00	0.000E+00	0.000E+00	0.000E+00
7	01111840	稲わら、1kg リサイクルフロー	kg	1	kg	0.000E+00	0.000E+00	0.000E+00	0.000E+00	0.000E+00	0.000E+00	0.000E+00
8	01111840	稲わら、40kg リサイクルフロー	kg	1	kg	0.000E+00	0.000E+00	0.000E+00	0.000E+00	0.000E+00	0.000E+00	0.000E+00
9	01120000	稲わら、1kg	kg	1	kg	0.000E+00	0.000E+00	0.000E+00	0.000E+00	0.000E+00	0.000E+00	0.000E+00
10	01120000	稲わら、40kg	kg	1	kg	0.000E+00	0.000E+00	0.000E+00	0.000E+00	0.000E+00	0.000E+00	0.000E+00
11	01121000	稲わら、1kg リサイクルフロー	kg	1	kg	0.000E+00	0.000E+00	0.000E+00	0.000E+00	0.000E+00	0.000E+00	0.000E+00
12	01121000	稲わら、40kg リサイクルフロー	kg	1	kg	0.000E+00	0.000E+00	0.000E+00	0.000E+00	0.000E+00	0.000E+00	0.000E+00
13	01122000	稲わら、1kg	kg	1	kg	0.000E+00	0.000E+00	0.000E+00	0.000E+00	0.000E+00	0.000E+00	0.000E+00
14	01122000	稲わら、40kg	kg	1	kg	0.000E+00	0.000E+00	0.000E+00	0.000E+00	0.000E+00	0.000E+00	0.000E+00
15	01124000	稲わら、1kg	kg	1	kg	0.000E+00	0.000E+00	0.000E+00	0.000E+00	0.000E+00	0.000E+00	0.000E+00
16	01124000	稲わら、40kg	kg	1	kg	0.000E+00	0.000E+00	0.000E+00	0.000E+00	0.000E+00	0.000E+00	0.000E+00
17	01125000	稲わら、1kg	kg	1	kg	0.000E+00	0.000E+00	0.000E+00	0.000E+00	0.000E+00	0.000E+00	0.000E+00
18	01125000	稲わら、40kg	kg	1	kg	0.000E+00	0.000E+00	0.000E+00	0.000E+00	0.000E+00	0.000E+00	0.000E+00
19	01131000	稲わら、1kg	kg	1	kg	0.000E+00	0.000E+00	0.000E+00	0.000E+00	0.000E+00	0.000E+00	0.000E+00
20	01131000	稲わら、40kg	kg	1	kg	0.000E+00	0.000E+00	0.000E+00	0.000E+00	0.000E+00	0.000E+00	0.000E+00
21	01131000	稲わら、1kg	kg	1	kg	0.000E+00	0.000E+00	0.000E+00	0.000E+00	0.000E+00	0.000E+00	0.000E+00
22	01131000	稲わら、40kg	kg	1	kg	0.000E+00	0.000E+00	0.000E+00	0.000E+00	0.000E+00	0.000E+00	0.000E+00
23	01131000	稲わら、1kg	kg	1	kg	0.000E+00	0.000E+00	0.000E+00	0.000E+00	0.000E+00	0.000E+00	0.000E+00
24	01131000	稲わら、40kg	kg	1	kg	0.000E+00	0.000E+00	0.000E+00	0.000E+00	0.000E+00	0.000E+00	0.000E+00

Excel での表示例

提供形式

IDEA v2 は、現在、上流遡及を行い原単位化した Excel 版と、LCA ソフトウェア SimaPro 上でお互いにリンクした単位プロセス型のデータベースの両方の形でご利用いただけます。他のソフトウェアやフォーマットについても順次対応を進めています。



TCO2 株式会社

URL: [http:// IDEA-LCA .com/](http://IDEA-LCA.com/)

Email: IDEA@tco2.com

TEL: 03-6272-6814（受付時間 平日 10:00～17:00）

